

令和4年度
年 報



公益財団法人いわき市教育文化事業団

ごあいさつ

令和4年度は、当財団の設立から45年目、公益法人に移行後9年目にあたりました。公益法人としての役割を認識し、専門性を十分に活かすとともに、新型コロナウイルス（以下、「新型コロナ」という。）感染症の感染拡大防止に関する県・市の対策を踏まえながら、職員一丸となって市・県民の心の支えとなるような事業を展開しました。

文化財部門は、今年度もJRいわき駅周辺の再開発事業による平城跡内での発掘調査や試掘・確認調査が多く実施されました。田町曲輪内の武家屋敷地調査では、掘立柱建物跡や井戸跡、導水施設、厠跡等の遺構のほか、陶磁器やかかわらけ、漆器等の遺物が数多く検出されました。また、市道改良に伴う岡ノ内遺跡発掘調査では、縄文時代や古墳時代の遺物が出土しました。

施設部門は、大部分の施設が5か年の指定管理期間の折り返しを迎え、新型コロナ感染症の感染拡大防止を図りながら、魅力ある企画展や体験学習等の事業を展開しました。全施設の年間利用者は前年度比154.6%となっています。

今後とも、職員の専門性を高めるとともに、各分野の有機的な連携を図りながら、より充実した事業展開に努め、市の教育文化の発展に資する団体として着実にその役割を果たしてまいります。

最後に、市民の皆様をはじめ、当財団の各事業にご参加、ご協力をいただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

公益財団法人いわき市教育文化事業団
理事長 藤 城 良 教



磐城平城塗師櫓 現況確認調査前全景
福島県いわき市平字旧城跡地内

目 次

ごあいさつ	1
目次	2
1 管理運営概要	3
(1) 沿革	3
(2) 組織	3
ア 評議員会	3
(ア) 評議員	3
(イ) 評議員会の開催	3
イ 理事会	3
(ア) 理事・監事	3
(イ) 理事会の開催	3
(ウ) 監査	4
ウ 職員	4
(ア) 事務局	4
(イ) 指定管理施設	4
(ウ) 職員一覧	5
(エ) 組織図	6
エ 人材育成	7
(ア) 職員採用	7
(イ) 職員研修	7
2 事業概要	8
(1) 埋蔵文化財調査事業	8
ア 調査事業内容	8
イ 整理、報告書作成・刊行	9
ウ 啓発事業	10
エ 連携事業	
オ 埋蔵文化財発掘調査 市内遺跡位置図	
(2) 指定管理事業	12
ア いわき市立草野心平記念文学館及び草野心平生家	12
イ いわき市暮らしの伝承郷	17
ウ いわき市勿来関文学歴史館	25
エ いわき市アンモナイトセンター	31
オ いわき市考古資料館	35
カ 福島県いわき海浜自然の家	40
キ いわき市生涯学習プラザ	44
ク 施設利用者状況	53
ケ ホームページアクセス状況	54
(3) 啓蒙普及事業	55
ア 出前講座	55
イ 連携事業	56
ウ 刊行物	57
エ 情報発信	57
(4) 研究事業	58
ア 研究紀要の刊行	58
イ 外部機関からの委嘱など	58

1 管理運営概要

(1) 沿革

当財団は、昭和53年（1978）の設立以来、いわき市の教育文化の振興に幅広く貢献してきました。

当初、埋蔵文化財の発掘調査と市史編さん〔平成6年（1994）事業終了〕が主な事業でしたが、昭和63年の「いわき市音楽館」（平成19年3月閉館）をはじめ、「いわき市アンモナイトセンター」（平成4年～）、「いわき市考古資料館」（同9年～）、「いわき市立草野心平記念文学館」（同10年～）、「いわき市暮らしの伝承郷」（同11年～）、「いわき市生涯学習プラザ」（同14年～）、「いわき市草野心平生家」（同15年～）、そして、東日本大震災後には「福島県いわき海浜自然の家」（同23年～）、「いわき市勿来勤労青少年ホーム」（同27年～31年）、「いわき市勿来関文学歴史館」（同30年～）の管理運営を受託しています。

平成26年からは公益財団法人に移行し、教育文化のさらなる振興に寄与する団体として、市・県民をはじめ、皆様の負託に応えています。

(2) 組織

ア 評議員会

(ア) 評議員

評議員	小野 一雄	いわき歴史文化研究会代表
評議員	橋本 一雄	いわき自然史研究会顧問（～6月23日）
評議員	菜花 智	いわき市石炭・化石館副館長（6月23日～）
評議員	村木 亨	元福島県教育庁文化財課主幹兼副課長
評議員	吉田 隆治	いわき地域学会代表幹事
評議員	渡辺 弘	いわき市民コミュニティ放送相談役
評議員	千葉伸一郎	いわき市観光文化スポーツ部長（4月1日～）
評議員	松島 良一	いわき市教育委員会教育部長（4月1日～）

(イ) 評議員会の開催

- a 定時評議員会 6月23日提出 同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ 4階 大会議室
議案 第1号 令和3年度決算の承認について
第2号 評議員の選任について
第3号 理事の選任について
第4号 監事の選任について
- b 臨時評議員会（書面決議） 9月14日提出 同日議決
議案 第1号 理事の選任について

イ 理事会

(ア) 理事・監事

理事長	藤城 良教	いわき市副市長（4月1日～）
副理事長	水野 達雄	いわき市教育委員会教育長（～8月31日）
副理事長	服部 樹理	いわき市教育委員会教育長（9月16日～）
常務理事	鈴木 善明	事務局長兼務
理事	馬目 順一	いわき市教育委員会教育長職務代理者
理事	松本 武雄	学識経験者
理事	草野チエ子	いわき市社会教育委員の会議副議長
理事	神山 敬章	福島県市町村社会教育委員連絡協議会会長
理事	鮫島 和弘	前いわき市文化財保護審議会会長
監事	青木喜三郎	税理士
監事	大森 馨	元いわき市会計管理者
監事	横張 貴士	いわき市財政部長

(イ) 理事会の開催

- a 第1回理事会 5月23日提出 同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ 4階 大会議室
議案 第1号 令和3年度決算の承認について

第2号 令和4年度定時評議員会の招集について

- b 第2回理事会（書面決議） 6月23日提出 同日議決
議案 第1号 副理事長及び常務理事の選定について
- c 第3回理事会（書面決議） 9月9日提出 同日議決
議案 第1号 令和4年度臨時評議員会の招集について
- d 第4回理事会（書面決議） 9月16日提出 同日議決
議案 第1号 副理事長の選定について
- e 第5回理事会 12月23日提出 同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ 4階 大会議室
議案 第1号 専決処分の承認について
第2号 給与等に関する規程及び定年退職者の再雇用に関する規程の改正について
第3号 令和4年度事業変更計画及び収支補正予算（第2号）について
- f 第6回理事会（書面決議） 2月11日提出 同日議決
議案 第1号 役員賠償責任保険契約について
- g 第7回理事会 3月23日提出 同日議決 会場 いわき市生涯学習プラザ 4階 中会議室
議案 第1号 給与等に関する規程の改正について
第2号 令和5年度事業計画及び収支予算について

(ウ) 監査

- a 事前監査 5月12日 令和3年度決算審査についての事前監査 会場 いわき市考古資料館 2階 講義室
- b 第44回監事会 5月17日 令和3年度決算審査について 会場 いわき市役所 4階 財政部長室

ウ 職員 合計88人（9人） 括弧内数字は兼務職員数 令和5年3月31日現在

(ア) 事務局

- a 事務局 2人
事務局長1人、次長職1人
- b 企画管理係 4人
次長相当職1人、主任職2人、補助職員1人
- c 調査係 25人
係長及び同相当職2人、主任職2人、係員3人、嘱託職員3人、補助職員15人

(イ) 指定管理施設

- a いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家 8人
館長1人、次長相当職1人、主任職2人、係員1人、補助職員3人
- b いわき市暮らしの伝承郷 8人
館長1人、係長及び同相当職1人 主任職1人、係員1人、補助職員4人
- c いわき市勿来関文学歴史館 5人
館長1人、係員1人、嘱託職員1人、補助職員2人
- d いわき市アンモナイトセンター 6人
所長1人、主任職1人、嘱託職員1人、補助職員3人
- e いわき市考古資料館 2人（9人）
館長（1人）、係長及び同相当職（3人）、主任職（2人）、係員（3人）、補助職員2人
- f 福島県いわき海浜自然の家 17人
所長1人、次長及び同相当職1人、係長及び同相当職3人、主任職2人、嘱託職員3人、補助職員7人
- g いわき市生涯学習プラザ 11人
館長1人、次長及び同相当職1人、係長及び同相当職1人、主任職1人、係員1人、補助職員6人

(ウ) 職員一覧

事務局

事務局長(兼)	鈴木 善明
事務局次長(再)	木幡 成雄

企画管理係

主任主査兼係長	渡邊 芳一
事務主任	佐藤 理恵
事務主任	尾股 範彦

調査係

係長(再)	椰良 幸広
副主任研究員	高橋 忠道
研究員	木次谷裕子
研究員	千田 一志
研究員	大滝 駿介
研究員	太田 勇陽
研究員	滝沢 勇馬
特任研究員(非・嘱)	檜村 友延
特任研究員(非・嘱)	高島 好一
特任研究員(非・嘱)	中山 雅弘
特任研究員(非・嘱)	鈴木 隆康

(5月19日～12月31日)

いわき市立草野心平記念文学館

及びいわき市草野心平生家

名誉館長	栗津 則雄
館長	山崎 俊克
専門学芸員	長谷川由美
学芸員	渡邊 彩
学芸員	馬目 聖子
主事	塚本 芽衣

いわき市暮らしの伝承郷

館長	夏井 芳徳
副主任学芸員	松嶋 直実
学芸員	馬目 紗希
学芸員	山田りぼん

いわき市勿来関文学歴史館

統括学芸員兼館長	矢島 敬之
学芸員	佐藤耕太郎
学芸員(嘱)	渡邊 千香

いわき市アンモナイトセンター

所長	遠藤 喜一
研究員	歌川 史哲
体験指導員(嘱)	佐藤 弓人

いわき市考古資料館

館長(兼)	木幡 成雄
副館長(兼)	渡邊 芳一
係長(兼)	椰良 幸広
副主任研究員(兼)	高橋 忠道
研究員(兼)	木次谷裕子
研究員(兼)	千田 一志
研究員(兼)	大滝 駿介
研究員(兼)	太田 勇陽
研究員(兼)	滝沢 勇馬

福島県いわき海浜自然の家

所長	大和田 洋
統括指導員兼次長	猪狩みち子
主任指導員	駒木根栄一
主査	荻 哲郎
副主任指導員	大和田孝英
指導員	今野 樹
指導員	久保田里美
教育指導専門員(嘱)	大槻 貴
運転手(嘱)	内山 幸二
指導員(嘱)	馬場口勝彦

いわき市生涯学習プラザ

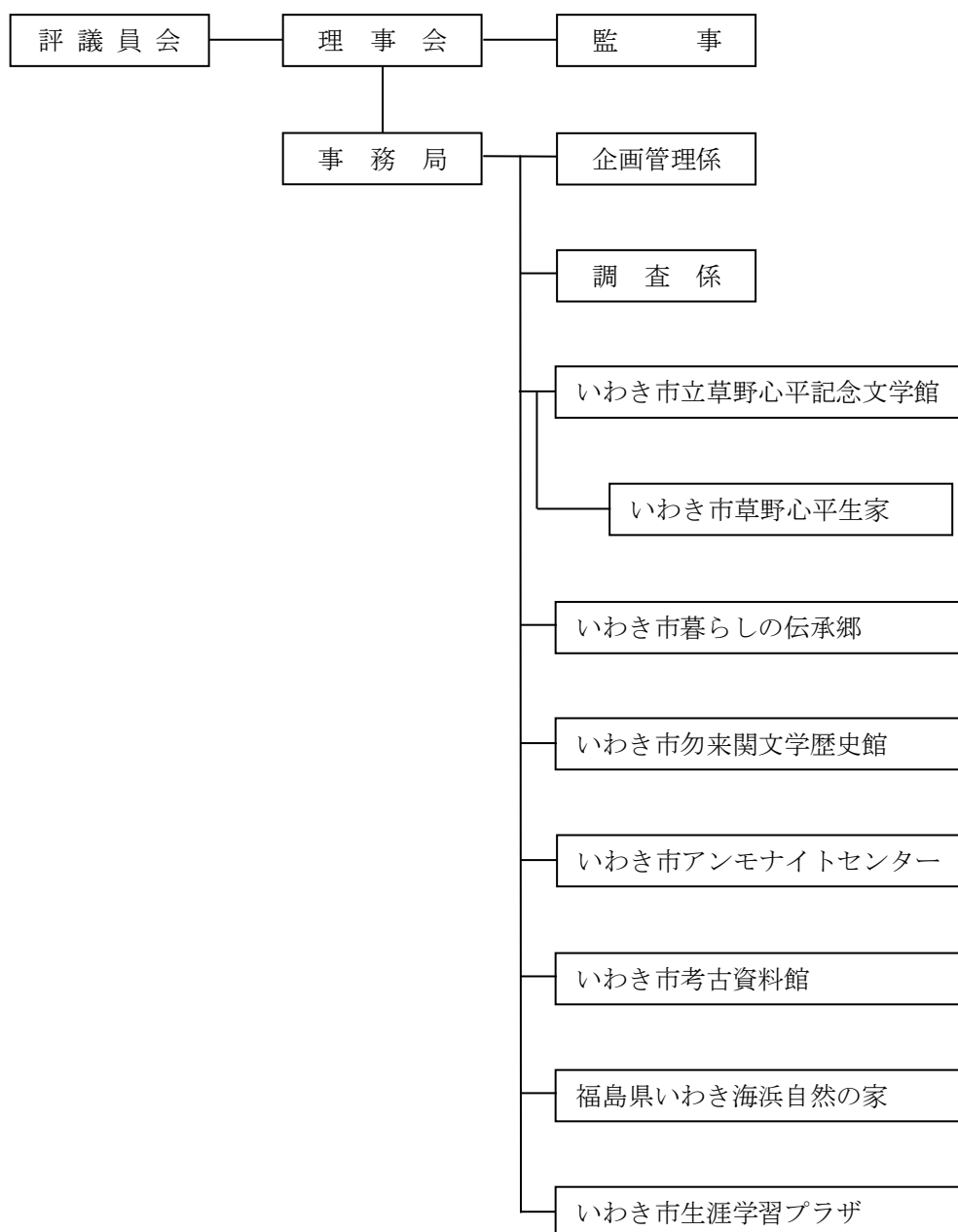
館長	岡田 正彦
副館長	末永 成清
管理係長(再)	高木 浩子
事務主任	江間 晃一
主事	佐藤建比古

いわき市

観光文化スポーツ部文化財課派遣

埋蔵文化財専門員	江川 逸生
----------	-------

(工) 組織図



エ 人材育成

(ア) 職員採用

職員の退職などに伴う専門職員（学芸員・研究員）の定数補充のため、4月1日付で2人の職員を採用した。

(イ) 職員研修

a 当財団研修

(a) 初任者研修 4月25日(月)～同26日(火) 受講者 新採用職員2人

(b) 中堅職員研修 3月1日(水) 受講者 計23人

b ふくしま自治研修センター研修

(a) 新規採用職員（前期）研修 4月20日(水)～同22日(金) 受講者 新採用職員2人

(b) 基礎力アップ研修 5月26日(木)～同27日(金)、12月8日(木)～同9日(金) 受講者 計2人

(c) 実行力アップ研修 6月9日(木)～同10日(金) 受講者 1人

(d) 再任用職員研修 6月29日(水) 受講者 計3人

c いわき市職員研修

会計年度任用職員研修（補助職員対象） 7月28日(木)、同29日(金) 受講者 計6人

d 安全衛生関係講習

(a) 新入者安全衛生教育研修 4月12日(火) 受講者 計2人

(b) 刈払機取扱者に対する安全衛生教育講習 4月19日(火) 受講者 1人

(c) 安全衛生推進者養成講習 7月13日(水) 受講者 1人

(d) 甲種防火管理新規講習 6月9日(木)～同10日(金)、7月13日(水)～同14日(木)、3月9日(水)～同10日(木) 受講者 計4人。同再講習 11月25日(金) 受講者 計2人

e 専門研修

(a) 令和4年度ミュージアムトップマネジメント研修（オンライン） 10月5日(水)～7日(金) 受講者 計1人

(b) サイバーセキュリティセミナー（オンライン） 2月16日(木) 受講者 1人

(c) 令和4年度歴史民俗資料館等専門職員研修会 11月7日(月)～11日(金) 受講者 1人

(d) 博物館・美術館におけるアクセシビリティ向上に向けて 11月25日(金) 受講者 1人

f 自主研修

(a) 常設展示室リニューアルに係る展示手法の調査として、サントリー美術館「歌枕 あなたの知らない心の風景」及び東京都美術館「ボストン美術館展 芸術×力」観覧 7月27日(水) 研修者 1人

(b) 古代磐城郡における官衙関係資料調査として、「第49回古代城柵官衙遺跡検討会」参加 2月18日(土)、同19日(日) 研修者 1人

(c) いわきとその周辺における鉄生産に関する調査研究として、鉄の技術と歴史研究フォーラム第41回講演会「幕末・明治期の鉄研究会」聴講（オンライン） 1月28日(土) 研修者 1人

g 図書購入補助 申請者 計18人

2 事業概要

(1) 埋蔵文化財調査事業

令和4年度は13件の事業を受託した。内訳は、いわき市内が11件（発掘調査3件、市内試掘調査1件19箇所、整理作業7件）、市外が2件（檜葉町 整理作業1件、本宮市 報告書作成・刊行1件）となる。屋外での作業となる発掘調査では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に講じつつ、安全を第一に心掛けて作業にあたった。

発掘調査では、平城跡（平字並木の杜）において多大な成果を上げた。平城下絵図等において、田町曲輪とされる箇所の調査であり、武家屋敷地内の各種遺構が検出されたほか、地鎮の跡も確認されている。併せて、陶磁器・かわらけ、漆器などの生活用具も多数出土している。さらに、下層からの中世段階の掘立柱建物跡や陶磁器類が出土したことは特筆される。

市内遺跡に関する試掘・確認調査は、19箇所を調査し、報告書作成作業までを実施した。報告書は、いわき市教育委員会が刊行した。

また、磐城平城塗師櫓石垣の調査では、崩落した石垣の石材カルテを作成したほか、石垣の確認調査を実施した。北面での根石や南面での階段状遺構の存在、石垣内部の栗石の状況が確認された。

梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川）の範囲確認調査では、再検証を実施した結果、3基の窯跡の新旧関係が明確になった。いずれも、8世紀初頭頃の須恵器焼成窯跡と推定される。

今年度は、整理作業も多く実施し、市内外7遺跡の業務について、次年度以降の報告書刊行に向けて、各種作業した。

ア 調査事業内容

(ア) 市内遺跡発掘調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課） 受託期間 4月13日(水)～3月17日(金)

成果 個人住宅、宅地造成、公共事業等に先立ち、16遺跡19箇所の試掘・確認調査を実施した。遺跡位置図は10頁のとおり

- a 平城跡（位置図①）ではJR東日本常磐線いわき駅周辺4箇所の調査が実施され、溝跡・ピット・盛土などが確認された。
- b 須賀蛭C遺跡（位置図②）では弥生時代後期の竪穴建物跡が確認された。
- c 関根遺跡（位置図③）では縄文時代晩期の土坑墓が確認された。
- d 北ノ作館跡（隣接）（位置図④）では縄文時代～平安時代の竪穴状遺構や土坑・ピットなどの遺構と遺物が確認された。北ノ作館跡（隣接）は、北作B遺跡として登録され、令和5年度から発掘調査が実施されることとなった。
- e 報告書は、令和4年2月から12月に調査した遺跡について、『いわき市埋蔵文化財調査報告 第195冊』を作成し、いわき市教育委員会より刊行された。

(イ) いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託

委託者 いわき駅並木通り地区市街地再開発組合 受託期間 4月28日(木)～9月28日(水)を2月15日(水)まで延長 調査面積 2,982㎡

遺跡名 平城跡（平字並木の杜 位置図⑤）

成果 第24次（商業棟）、第25次（住居棟）の2地点の調査を実施した。平城下田町曲輪内の武家屋敷地における柱穴群、井戸跡、溝跡、導水施設・厠跡等の遺構群が検出され、陶磁器類を主体とする遺物が多数出土した。さらに、下層でも中世段階の柱穴群や陶磁器類が検出された。

(ウ) 南白土関根2号線埋蔵文化財（岡ノ内遺跡）発掘調査業務委託

委託者 いわき市（土木課） 受託期間 6月17日(金)～12月16日(金) 調査面積 200㎡

遺跡名 岡ノ内遺跡（平南白土字岡ノ内地内 位置図⑥）

成果 昨年度に引き続き、遺物包含層の調査を実施した。縄文時代後期前半を主体とする土器や石器、土製品のほか、弥生土器や土師器なども出土した。また、古墳時代前期の壺形土器を伴う土坑が検出された。

(エ) 都市計画道路搔槌小路幕ノ内線（柳町工区）埋蔵文化財（平城跡）発掘調査業務委託

委託者 いわき市（土木課） 受託期間 7月7日(木)～11月30日(水)を2月28日(火)まで延長 調査面積 583㎡

遺跡名 平城跡（平字柳町地内 位置図①）

成 果 対象範囲内においてボーリング調査を実施することで、土層堆積状態から外堀の面的な範囲や底面深度を推定した。

イ 整理、報告書作成・刊行

(ア) (仮称) 磐城平城・城跡公園埋蔵文化財調査業務委託

委託者 いわき市（公園緑地課） 受託期間 5月19日(木)～3月27日(月)

遺跡名 平城跡、旧城跡遺跡（平字旧城跡地内 位置図①）

成 果 令和2年度に調査された平城跡本丸地区（第17次）の整理作業を実施した。礎石建物跡、石組遺構、掘立柱建物跡、井戸跡、厠跡、祭祀遺構、溝跡、ピット、堀跡、焼成面などの遺構が検出され、かわらけ、陶磁器、瓦、石器・石製品、金属製品、銭貨、漆器、木製品などの遺物が出土している。

(イ) 埋蔵文化財発掘出土品整理業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課） 受託期間 9月1日(木)～3月24日(金)

遺跡名 平城跡（田町地区 位置図⑤）

成 果 令和3年度に調査された平城跡田町地区（第19次）の整理作業を実施した。内堀跡と田町曲輪の調査で、陶磁器類が多量に出土している。さらに、明治時代の石垣も検出された。

(ウ) 市内遺跡発掘調査（報告書作成）業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課） 受託期間 9月5日(月)～3月17日(金)

遺跡名 応時遺跡（勿来町大高応時地内 位置図⑦）

成 果 平成29年度に調査された応時遺跡の整理作業を実施した。古墳時代後期を主体とする竪穴建物跡が検出されている。

(エ) 餓鬼堂地区埋蔵文化財調査委託

委託者 いわき市（林務課） 受託期間 10月20日(木)～2月28日(火)

遺跡名 餓鬼堂横穴群（平薄磯字北ノ作地内 位置図⑧）

成 果 平成24年度に調査された第30号横穴から第39号横穴の整理作業を実施した。一部の横穴からは、埋葬施設の木棺や多種多様の副葬品が出土している。

(オ) 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課） 受託期間 11月1日(火)～3月17日(金)

遺跡名 梅ノ作瓦窯跡群（小川町下小川字梅ノ作地内 位置図⑨）

成 果 範囲確認を目的に調査された須恵器焼成窯跡の整理作業を実施した。また、現地での再検証を行い、3基の窯跡の新旧関係を明確にした。高台付杯、蓋、円面硯、甕が生産された8世紀初頭頃の窯跡と推定される。

(カ) 磐城平城跡塗師櫓石垣 石材カルテ作成及び石垣確認調査業務委託

委託者 いわき市教育委員会（文化財課） 受託期間 11月25日(金)～3月31日(金)

遺跡名 平城跡（平字旧城跡地内 位置図①）

成 果 平成23年の東日本大震災により崩落した磐城平城塗師櫓石垣の確認調査と震災後に搬出した石垣石材のカルテを作成した。確認調査では、櫓石垣の基礎部分の検出と櫓内部の状況を確認する目的でトレンチ調査を実施し、石垣北面において根石部分が確認されたほか、南面中央付近から階段状石組み遺構が検出された。さらに、石垣内部については地形造成後に主に栗石を詰めて構築されたことが確認された。

(キ) 高久保育園埋蔵文化財発掘調査業務委託（整理等作業）

委託者 いわき市（こどもみらい課） 受託期間 12月27日(火)～3月31日(金)

遺跡名 地藏院前遺跡（平下高久字清水地内 位置図⑩）

成 果 令和3年度に調査された地藏院前遺跡の整理作業を実施した。7世紀代から9世紀代の竪穴建物跡や井戸跡などが検出され、焼失家屋も確認されている。土師器・須恵器が主体となり、墨書土器も確認されている。さらに、近世墓が検出されている。

(ク) 第21-41310-0271号 埋蔵文化財発掘調査業務委託（合併支援）本宮市高木地内（大学館跡）

委託者 福島県県北建設事務所 受託期間 令和3年9月28日(火)～5月31日(火)

遺跡名 大学館跡（本宮市高木字大学地内）

成 果 令和2年度から同3年度にかけて調査された本宮市大学館跡の報告書を刊行した。中世の館跡である大学館跡は、丘陵上に数条の堀跡が検出され、陶磁器類も出土している。

(ケ) 第403号 町道馬場前線道路改築工事に伴う埋蔵文化財本発掘調査業務委託

委託者 檜葉町 受託期間 6月13日(月)～3月15日(水)

遺跡名 馬場前遺跡(檜葉町大字上小埜字馬場前地内)

成果 令和2年度に調査された檜葉町馬場前遺跡の整理作業を実施した。縄文時代中期及び平安時代の竪穴住居跡や土坑が検出されている。縄文土器、土師器が多量に出土し、特に筒形土器が土坑内から多数出土している。

ウ 啓発事業

第1回企画展「令和3年度発掘速報展」

いわき市考古資料館と共催して開催した。内容は35頁に記載のとおり。

エ 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、1事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

オ 埋蔵文化財発掘調査 市内遺跡位置図

(ア) 主な発掘調査業務(試掘・確認調査含む)

① 平城跡(平字六間門、柳町)、② 須賀蛭C遺跡(泉町下川字須賀蛭)、③ 関根遺跡(勿来町酒井関根)、④ 北ノ作館跡(隣接)(勿来町関田北作)、⑤ 平城跡(平字並木の杜、田町)、⑥ 岡ノ内遺跡(平南白土字岡ノ内)

(イ) 整理、報告書作成・刊行業務

⑦ 応時遺跡(勿来町大高応時)、⑧ 餓鬼堂横穴群(平薄磯字北ノ作)、⑨ 梅ノ作瓦窯跡群(小川町下小川字梅ノ作)、⑩ 地藏院前遺跡(平下高久字清水)





平城跡24次 調査状況
いわき市平字田町地内



平城跡24次 遺物出土状況（三島唐津中鉢）
いわき市平字田町地内



平城跡25次 調査状況
いわき市平字田町地内



平城跡25次 井戸跡検出状況
いわき市平字田町地内



平城跡25次 導水管（上水道）検出状況
いわき市平字田町地内



平城跡25次 祭祀遺構検出状況（折敷・かわらけ）
いわき市平字田町地内



磐城平城塗師櫓 階段状石組み（雁木）検出状況
いわき市平字旧城跡地内



関根遺跡 土坑墓に埋設された縄文土器
いわき市勿来町酒井関根地内

(2) 指定管理事業

ア いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

文学館 いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39 平成10年7月19日開館
生家 いわき市小川町上小川字植ノ内6番地の1 平成15年4月10日開館

委 託 者 いわき市 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日
指定管理料 文学館 76,558,000円 / 生家 3,254,000円

いわき市立草野心平記念文学館の年間入館者は8,487人、昨年度比3,026人の増、年間開館日数は309日であった。

いわき市草野心平生家の年間入館者は1,177人、昨年度比570人の増、年間開館日数は309日であった。通常の開館時はボランティアの会員が心平と故郷のかかわりを解説しつつ、親しみやすく来館者に接している。

文学館、心平生家ともに、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナという）感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、催事の大半を事前申し込みとし、平時の半数以下の定員として、感染拡大防止に留意し、利用者へ可能な限り配慮しながら事業や施設の管理運営を実施した。また、同宣言ポスターを館内に掲示し、利用者へ周知を図った。

(ア) 企画展

令和4年度は、春、夏、秋と3回の企画展を開催した。

春の企画展「草野心平の命名 名前・名前・名前」は、草野心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった詩人の魅力を紹介した。夏の企画展「ふつうがえらい！ エッセイスト 佐野洋子展」は、絵本作家であり、すぐれたエッセイストでもあった佐野洋子の言葉を軸に、自筆原稿や束見本、挿絵原画などを展示し、エッセイスト佐野洋子の魅力を紹介した。秋の企画展「萩原朔太郎大全2022 一詩の岬」は、萩原朔太郎の没後80周年を記念する共同企画展「萩原朔太郎大全2022」に参加し、全国の文学館等と連携しながら、山村暮鳥が居住した大正初期のいわき地域が、詩壇の最先端だったことを紹介した。

スポット展示は、「猪狩満直」・「草野心平の料理」・「吉野せい」・「草野天平」を開催し、心平の創作活動の一面やいわきゆかりの文学者、資料、交友を紹介した。

a 春の企画展「草野心平の命名 名前・名前・名前」

会 期 4月23日(土)～6月26日(日)

観 覧 者 1,158人

内 容 草野心平が命名した事物を取り上げ、関連資料と心平の言葉で、命名の達人でもあった詩人の魅力を紹介した。

関連事業

ギャラリートーク 5月14日(土)、6月4日(土)いずれも14時～14時30分 聴講者 計22人



春の企画展「草野心平の命名 名前・名前・名前」の展示



b 夏の企画展

「ふつうがえらい！ エッセイスト 佐野洋子展」

会 期 7月16日(土)～9月19日(月・祝)

観 覧 者 2,963人

内 容 絵本『100万回生きたねこ』で知られる佐野洋子の自筆原稿や束見本、挿絵原画などを展示し、すぐれたエッセイストでもあった佐野の言葉を軸に、人物像やエピソード、絵の仕事などから、その魅力を紹介した。

関連事業

(a) トークイベント「佐野洋子のおきばなし」

7月31日(日)14時～15時30分 佐野洋子とのエピソードや、一緒に製作した書籍のことなどについて、刈谷政則氏(編集者)、広瀬弦氏(イラストレーター、佐野洋子長男)が対談した。 聴講者 75人

(b) ギャラリートーク 8月6日(土)、9月3日(土)いずれも14時～14時30分 聴講者 計22人

c 秋の企画展「萩原朔太郎大全2022 一詩の岬」

会 期 10月8日(土)～12月18日(日)

観 覧 者 1,995人

内 容 萩原朔太郎の没後80周年を記念する共同企画展「萩原朔太郎大全2022」に参加し、全国の文学館等と連携しながら、山村暮鳥が居住した大正初期のいわき地域が、詩壇の最先端だったことを紹介した。

関連事業

(a) 記念講演会「私が出逢った詩人たち 一草野心平さんの思い出」 11月13日(日)14時～15時30分 草野心平とのエピソードや、心平をとりまく人々との思い出について、萩原朔美氏(萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館館長)が講演した。 聴講者 45人

(b) ギャラリートーク 11月19日(土)、12月10日(土)いずれも14時～14時30分 聴講者 計10人

d スポット展示「猪狩満直」

会期 4月9日(土)～6月26日(日)

内容 いわき市好間町川中子出身の詩人猪狩満直(1898～1938)が川中子の生家で過ごした時期にまとめた詩集や作品掲載誌、自筆原稿などを紹介し、併せて市指定有形文化財である生家(旧猪狩家住宅)についても紹介した。

e スポット展示「草野心平の料理」

会期 7月2日(土)～9月25日(日)

内容 屋台の焼鳥屋「いわき」、居酒屋「火の車」などで、店主として考案、調理した料理を客に提供した草野心平の創作料理の数々を紹介し、日記や自筆原稿、料理雑誌、愛用の食器を展示した。

f スポット展示「吉野せい」

会期 10月1日(土)～12月25日(日)

内容 いわき市小名浜出身で好間町の通称菊竹山で暮らした作家吉野せい(1899～1977)の「北風の通信」自筆原稿と、執筆を勧める草野心平の書簡、「暮鳥と混沌」自筆草稿などを展示し、最初の単行本『暮鳥と混沌』刊行の経緯を紹介した。

g スポット展示「草野天平」

会期 1月2日(月・休)～3月26日(日)

内容 いわきゆかりの詩人草野天平の生涯と作品を、生前刊行した唯一の詩集『ひとつの道』の刊行に注目して紹介した。



(イ) 普及事業（講演会・文学散歩）

文芸講演会「文学とわたし ―いわき時代から京都まで」は、いわき市ゆかりの小説家松村栄子氏を講師に迎え、5歳から18歳までを過ごしたいわき時代から京都に暮らす現在までの松村氏と文学についての講演会で、文学への興味関心を高める機会を提供した。文学散歩「磐城七浜の文学」は、塩屋埼灯台、薄磯海岸、いわき震災伝承みらい館を徒歩でめぐりながら、磐城七浜を記した文学者の作品について知る機会を提供した。ガリ版ワークショップでは、心平がガリ版で詩集を作ったことにちなみ、かつての印刷機材、技術にふれる機会とした。また、参加者作品紹介は、ガリ版で印刷した年賀状など、ワークショップの作品で年始の来館者を迎えるとともに、当館の多彩な事業内容の一端を紹介する機会とした。

宮西達也ワークショップでは、次年度夏の企画展のプレイベントとして、国内外で活躍している宮西達也氏を講師に迎えてフタバスズキリュウを工作用紙で作り、子ども達に創作の楽しさを体験する機会を提供し、次年度夏の企画展周知を図った。

a 文学散歩「磐城七浜の文学」

6月5日(日)10時～12時 塩屋埼灯台、薄磯海岸、いわき震災伝承みらい館を徒歩でめぐりながら、草野心平や山村暮鳥、中里介山、椎名誠など、磐城七浜を記した文学者の作品を紹介した。参加者 15人

b ガリ版ワークショップ

12月3日(土)13時30分～15時 心平が謄写版印刷機（ガリ版）で詩集を作ったことにちなみ、オリジナルのカードを作り、かつての印刷機材、技術にふれる機会とした。参加者 15人

c 「ガリ版ワークショップ」参加者作品紹介

1月2日(月・休)～1月9日(月・祝) 12月に実施したガリ版ワークショップの作品を紹介し、年賀状等で年始の来館者を迎えた。

d 文芸講演会「文学とわたし ―いわき時代から京都まで」

2月5日(日)14時～15時30分 小説家の松村栄子氏を講師に迎え、5歳から18歳までを過ごしたいわき時代から京都に暮らす現在までの松村氏と文学についての講演会を実施した。聴講者 68人

e 宮西達也ワークショップ「フタバスズキリュウをつくろう！」

3月25日(土)、26日(日)いずれも14時～15時30分 絵本作家である宮西達也氏を講師に迎え、いわき市で発見された海竜にちなみ、工作用紙でフタバスズキリュウを作った。聴講者 計83人

(ロ) 演奏会など

夜間開館時や週末を中心に演奏会などを開催し、文学や芸術にふれる場を提供した。サマーナイトの催しは、午後8時まで開館する7月・8月の土曜日の夕刻から、アトリウムロビーにて演奏会を開催し、多彩な芸術活動にふれる機会を提供した。クリスマスえほんコンサートは、絵本を読み聞かせるおはなし会を開催し、子どもたちが絵本などに接することで、物語の楽しさに親しむきっかけになることを目指した。

a いわき漣笛会山口流篠笛コンサート「竹の遠音 小川の里に響く篠の音」

5月5日(木・祝)10時～11時 鑑賞者 30人

b サマーナイトの催し

(a) コンサート「夕間暮れ」 7月2日(土)18時～19時 鑑賞者 46人

(b) 朗読会「『100万回生きたねこ』 佐野洋子・みごとな生きざま」

7月23日(土)17時～18時30分 鑑賞者 46人

(c) コンサート「デュオジャズナイト」 7月30日(土)18時～19時 鑑賞者 49人

(d) コンサート「バロックと日本の子守唄 ～バッハとヘンデル～」 8月6日(土)18時～19時 鑑賞者 47人

c クリスマスえほんコンサート

12月18日(日)11時～12時、14時～15時 絵本の読み聞かせと演奏会にあわせ、文学館ボランティアの会会員が扮するサンタクロースがお菓子をプレゼントするなど、親子連れが多数参加し、楽しんだ。鑑賞者 計97人



(エ) 市内文化施設、地域住民との連携

移動水族館は、親子連れや子どもたちが気軽に水辺の生き物にふれることができる機会とした。また、文学館周辺の団体と連携することによって、地域の活性化を図る機会とした。

a アトリウムコンサート

8月7日(日)11時～11時40分、13時30分～14時10分 いわき市立小川中学校吹奏楽部によるコンサートを開催した。鑑賞者 計97人

b 移動水族館（協力 アクアマリンふくしま）

8月28日(日)10時～15時 親子連れや子どもたちが海辺の生き物に親しんだ。開催に合わせ、ゆうゆうファームと小川の郷かあちゃんのじまん市が小川町の農産物を販売した。参加者 91人

c おでかけアリオス NUU「つんつん つるんぶ つるんぶ つるん 詩とうたのコンサート」（主催 いわき芸術文化交流館アリオス）

9月19日(月・祝)14時～15時 NUU氏、シーナアキコ氏、良原リエ氏によるコンサートを開催した。鑑賞者 33人

d 第45回吉野せい賞表彰式・記念講演会（主催 吉野せい賞運営委員会）

11月5日(土)13時～15時15分 記念講演会では、小説家、仙台文学館館長の佐伯一麦氏が、「厄災と文学」について講演した。聴講者 55人

e 令和5年いわき市小川地区成人式（主催 いわき市成人式実行委員会）

1月8日(日)11時30分～12時30分 いわき市小川地区の成人式を小講堂で実施した。参加者 55人

(カ) 文学館ボランティアの会事業

朗読サロンは、朗読に気軽に接し、かつ楽しく学べる講座を通して、文学や表現の魅力にふれる機会とした。文学館ボランティアの会会員が講師を務め、市民ボランティアの活用にもつながっている。文学散歩は、文学館内に設置された問題を解きながら、草野心平への理解を深める機会を提供した。

a 朗読サロン

4月9日(土)、5月14日(土)、6月4日(土)、7月2日(土)、8月6日(土)、9月3日(土)、10月1日(土)、11月19日(土)、12月10日(土)、1月14日(土)、2月4日(土)、3月4日(土)いずれも11時～12時 受講者 計74人

b 文学散歩「草野心平記念文学館で宝探し」

11月26日(土)10時～16時 館内に設置された問題を解きながら、文学館を見学することにより、参加者は草野心平への理解を深めることができた。参加者 13人

c 居酒屋「火の車」一日開店

3月12日(日)11時～12時 居酒屋「火の車」時代の随筆『酒味酒菜』収載の酒や肴に関する作品を朗読し、心平が愛好した京都の漬物のお土産を提供した。参加者 27人

(キ) 出前講座・展示

要請を受け、いわきの文学に関する講義及び出前展示を実施し、市内の文学者について理解を深める機会を提供した。出前展示1団体、出前講座1団体9人が受講した。詳細は55頁のとおり。

(ク) 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

(ケ) 草野心平生家の催し

カエルのクラフトワークショップは、地域住民や親子連れの参加者が見られ、郷土の詩人に思いを寄せ、市民交流の場を提供する機会とした。没後35回忌「心平忌」・第28回「心平を語る会」、「草野天平の集い」は、草野心平生家ボランティアの会と連携しながら、郷土の詩人を偲ぶひと時を参加者と共有した。

a 展示「ぐぜりあいのうたい」（主催 白鳥実行委員会）

4月2日(土)～4月17日(日) いわき市小川町出身で、現在、ヨーロッパを中心に活動している齋藤雅美氏が制作した美術作品を紹介した。観覧者 231人

b 心平誕生月の記念朗読会

5月13日(金)14時～15時 草野心平の誕生日(5月12日)にちなみ、市民が心平詩篇を朗読した。心平が学び、校歌を作詞したいわき市立小川小学校4年生も参加し、郷土の詩人を顕彰した。参加者 35人

c カエルのクラフトワークショップ

7月23日(土)14時～15時 草野心平が蛙を主題とした詩を多く作ったことにちなみ、カエルのちょうちんを作るワークショップを開催した。参加者 11人 写真右上

d 子どもじゃんがら

8月14日(日)11時～11時20分 小玉郷土芸能クラブによるじゃんがら念仏踊を実演した。鑑賞者 64人

e 没後35回忌「心平忌」・第28回「心平を語る会」

11月12日(土)13時～14時30分 心平の命日(11月12日)にちなみ、心平が好んで聞いていた曲などをピアノとソプラノの独唱で演奏し、郷土の詩人を偲んだ。鑑賞者 26人

f 草野天平の集い

2月26日(日)13時30分～14時30分 草野天平の誕生月にちなみ、天平が幼少期などを過ごした心平生家で、事業団職員による卓話と福島県立磐城高等学校合唱部による代表作品の合唱を行い、郷土の詩人を偲んだ。参加者 49人



(ケ) 刊行物

「いわき市草野心平記念館 年報」
第24号 A4判 44頁
発行日 3月31日



(カ) 事業懇談会の開催について

a 第1回事業懇談会

日時 9月4日(日)10時30分～11時30分

委員 5人出席

内容 報告第1号 令和3年度いわき市草野心平記念館の実施事業について
報告第2号 令和4年度いわき市草野心平記念館の事業について
その他事項

b 第2回事業懇談会

月日 3月11日(土)10時30分～11時30分

委員 6人出席

内容 報告第1号 令和4年度いわき市草野心平記念館の実施事業について
報告第2号 令和5年度いわき市草野心平記念館の事業計画について
その他事項

イ いわき市暮らしの伝承郷

いわき市鹿島町下矢田字散野14番地の16 平成11年7月18日開園

委 託 者 いわき市 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日
指定管理料 51,235,000円

令和4年度の入園者数は13,500人で、前年度比3,080人の増であった。本年度後半は、新型コロナウイルス感染症の感染が収束の方向に向かい、来園者の数が戻りつつあることがこの人数からも読み取れる。

伝承郷の中心事業である景観復元・伝承・管理作業は、「昔の暮らしの景観復元と伝承」をコンセプトとし、令和4年度も畑作・里山作りのほか、干し柿作りや餅花づくりなど古民家の生活復元を展示に取り入れ実施した。

常設展示事業の一環として、園内の見学に活用できるワークシート「ワクワク探検in伝承郷」の配布を行っている。これは、館内での配布と同時にホームページでの公開も行い、小学校の事前学習や見学の資料として活用されている。

また、本年度は旧猪狩家の茅屋根葺き替えを行い、現地見学を開催した。ほかに年中行事の復元として三和町の旧家で古くから行われていた門松を再現し、それを記録として残した。

そのほか、ボランティア育成、資料収集・整理作業、民俗調査・レファレンスなどを通年で実施した。

(ア) 企画展

第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」を開催した。その際に行ったアンケートを読むと小川江筋に関心を寄せる人の多さに驚かされた。また、沢村勘兵衛についての興味が高く、本展示はこの2点のことからも市民の知識向上の欲求に十分にこたえることができたものとする。

第2回企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」は、開催当初から、多くの来園者があり好評である。

共催展は「日本刀剣美術保存協会いわき支部刀剣鑑賞展2023」を日本刀剣美術保存協会いわき支部と共同で開催した。来園者の年代は幅が広く、市外からの来訪者も多かった。多くの人に見学の機会を提供できたことは大きな成果である。

ロビー展では、年中行事に合わせた民具の展示や体験教室の作品などを展示した。

a 第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」

会 期 4月30日(土)～11月27日(日)

入 園 者 8,429人

内 容 江戸時代初期に内藤政長が磐城平藩に入封して400年の節目を迎えたのを記念し、内藤家時代に整備された大規模な農業用水「小川江筋」を取り上げるとともに、江戸時代の農業について紹介した。

関連事業

展示解説会 5月28日(土)、6月25日(土)、9月10日(土)、同18日(日)、10月8日(土)、11月6日(日)いずれも13時30分～14時30分 聴講者 計52人



第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」の展示

- b 第2回企画展「磐城平城の絵図と城下の年中行事」
 会 期 3月18日(土)～6月18日(日)
 入 園 者 600人〔3月18日(土)～31日(金)〕
 内 容 江戸時代の磐城平城が描かれた城絵図や城下絵図を展示するとともに、磐城平城下で行われていた年中行事や町の人々の暮らしを紹介する。

- c 共催展「日本刀剣美術保存協会いわき支部刀剣鑑賞展2023」(共催 日本刀剣美術保存協会いわき支部)
 会 期 2月2日(木)～同12日(日)
 入 園 者 984人
 内 容 いわきゆかりの日本刀や同会会員所蔵の刀剣の展示を行うとともに、たたらによる鉄づくり等について解説した。また、体験事業も実施した。

- d ロビー展
 (a) 端午の節句飾り展 4月17日(日)～6月12日(日) 「鍾馗」の特大絵幀をはじめ、絵幀4点、鯉幀2点、節句飾り6点を展示した。
 (b) 七夕飾り展 7月7日(木)～8月8日(月) 笹竹に藁馬(七夕馬)を飾り、来園者が短冊に願い事を書き笹竹に飾った。今年は、外国語の短冊もあり、国際色が豊かであった。笹竹と藁馬の展示のほかに、七夕の歴史やいわき市内の七夕に関連する行事について、パネルで紹介した。

- (c) 「戊辰の役 長橋合戦の図(模写)」 7月9日(土)～8月22日(月) 「戊辰の役 長橋合戦の図(模写)」の原画になっているのは、福岡県柳川市三柱神社に戊辰戦争の戦勝を祝して奉納された絵馬である。それを後年二本松市出身の日本画家中村岳南が模写をした。絵図は令和4年3月にいわき市に寄贈された。展示では、絵図に描かれた平城落城の日の戦いの様子を解説した。

- (d) 遠野和紙と龍生派による花展 8月27日(土)～9月3日(土) 龍生派むつみ会いわき支部といわき伝統遠野和紙のコラボレーションをうたった作品展を行った。

- (e) 「消しゴムはんこで『色紙絵』展 9月1日(木)～同22日(木) 毎週木曜日に開催している「消しゴムはんこ彫り・ちぎり絵教室」の参加者による作品展を行った。

- (f) 「遠野和紙と書道教室」色紙展 12月10日(土)～同19日(月) いわき市の伝統工芸である遠野和紙を使った作品展を行った。

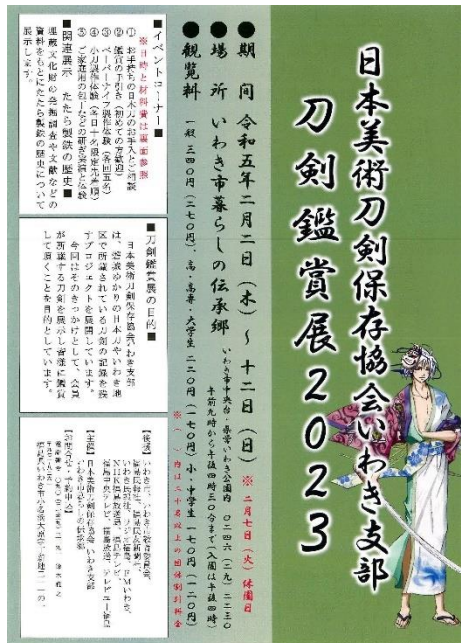
- (g) おひなさま展 2月25日(土)～4月9日(日) 雛人形7点、関連資料1点を展示するとともに江戸時代の雛祭りやいわきの雛祭りの歴史をパネルで紹介した。

(イ) 講座・講演会

伝承郷講座は、昨年度、新型コロナウイルスの流行により順延となったものである。内容は、地域の民俗事例を取り上げ丁寧に解説したもので、受講者も熱心に聞き入っていた。

館長講座では、いわきの歴史や民俗などをテーマに講演した。いわき市に根差した内容で、好評を得た。

今年度新しく開講した「めざせ!『子ども落語家』講座」は、いわき市で活躍するアマチュア落語家・山椒家小粒氏を講師にむかえ、子どもたちが古典芸能「落語」を楽しく学ぶためのものである。4回の練習を重ね、堂々とした発表会での姿に、観客からも惜しみない拍手が送られた。



七夕飾り展

a 伝承郷講座①「神がよみがえる海～浜通りのお浜下り～」

10月2日(日)13時30分～15時 講師 丹野香須美氏
令和2年度文化庁より「記録作業等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選択された「浜通りのお浜下り」について、各地域の特徴などを紹介した。受講者 29人 写真右



b 伝承郷講座②「古文書に見る年中行事とその再現 四家『定例帳』を中心として」

3月25日(土)13時30分～15時 講師 四家久央氏 市内四家家に伝わる古文書「定例帳」から城下に伝わる年中行事を読み解いた。また、同家ではその再現も行い、これを写真などで紹介した。受講者 23人 写真右



c 館長講座

5月8日(日)「小川江筋と沢村勘兵衛」、同15日(日) 同前、7月9日(土)「学制発布150年」、同23日(土)「『戊辰の役 長橋合戦の図(模写)』と第三次磐城平の戦い」、8月20日(土) 同前、10月16日(日)「『愛谷渠碑』を読み解く」、11月5日(土) 同前、12月25日(日)「いわきの年中行事①」、1月21日(土)「いわきの年中行事②」、2月25日(土)「いわきの年中行事③」、3月18日(土)「いわきの年中行事④」いずれも13時30分～15時 受講者 計207人

d めざせ！「子ども落語家」講座（連続講座と発表会）

(a) めざせ！「子ども落語家」講座 6月25日(土)、7月23日(土)、8月12日(金)、同20日(土)、9月17日(土)いずれも10時～12時 受講者 計20人

(b) 子ども寄席（発表会） 10月29日(土)10時～11時 鑑賞者 26人

e 茅屋根葺き替え工事現地見学会

2月11日(土)10時～11時、13時～14時、14時30分～15時30分 (株)茅葺屋根保存協会の職員を講師に迎え、旧猪狩家の住宅の茅屋根葺き替えの説明と現地見学を行った。参加者 計57人 写真右



(7) 体験事業

体験学習会（主催）では、「民話の語り」「伝承郷で見つける自由研究」や「正月飾り作り」など、季節に合わせた内容で28回計画し、うち24回実施した。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各体験学習に定員を設け、事前申込制として実施した。定番化し好評を得ているものに加え、新規のプログラムを取り入れるなどし、幅広い年齢層が参加できるよう取り組んだ。

学社連携事業では、小学校と連携し、年中行事や昔の生活体験などを実施した。昔の風習・生活について理解を深めてもらう良い機会となった。

共催事業では、各種団体の要望で体験教室や演奏会などを共同で開催し、好評を得た。これは、新たな来園者層を開拓する機会となった。今後も各種団体との連携を図り事業の充実を図っていく。他に、学習管理棟休憩コーナーを会場に、ハーモニカ、ギター、箏・尺八や篠笛等の演奏会や寄席、フラメンコライブなどを実施した。各団体の熱のこもった演奏や演技に来園者の満足度も高かった。本年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため定員を設け、事前申込制としたが応募者が多く抽選となった事業もあり、コロナ後の体制を考える必要を感じた。

「キッズミュージアムin伝承郷」は、園内全域を会場とし、「麦わらのコースター作り」「木の枝クラフト」「竹ばっくり作り」の工作体験や、「輪投げ」「ゴム鉄砲射的」「水風船釣り」などの昔遊び体験を実施した。近年では体験することの少ない昔遊びの場を提供することができた。

「キッズじゃんがら体験教室」では、下綴青年会の方を講師に迎え、小学生向けのじゃんがら念仏踊りの体験教室を開催した。対象は小学生としていたが、同行していた保護者や小さな子どもたちも加わり賑やかな講座となった。

a 体験学習会

- (a) 節句のかぶと作り 4月9日(土)10時～12時 中止
- (b) けん玉道場 5月5日(木・祝)10時～12時 参加者 15人
- (c) 民話の語り 5月7日(土)、9月3日(土)、11月12日(土)、1月7日(土)、3月11日(土)いずれも13時30分～14時30分 鑑賞者 計101人
- (d) 伝承郷寄席 5月22日(日)14時～16時、3月26日(日)10時～12時、14時～16時 4月2日(土)・3日(日)は中止 鑑賞者 計108人
- (e) 布ぞうり作り(連続講座) 5月21日(土)、同28日(土)いずれも9時30分～12時 参加者 計8人
- (f) ベビーおじょんこ作り(連続講座) 6月12日(日)、同19日(日)、同26日(日)、7月3日(日)いずれも9時～12時 参加者 計19人
- (g) ヤマブドウの携帯ケース作り 6月19日(日)10時～15時 中止
- (h) 伝承郷で見つける自由研究(連続講座) 7月24日(日)、同31日(日)いずれも10時～15時 参加者 計9人
- (i) 竹編みの鍋敷き作り 11月13日(日)9時30分～12時 参加者 5人
- (j) 押し花カレンダー作り 11月19日(土)10時～12時 参加者 5人
- (k) 正月飾り作り(神棚用) 12月10日(土)9時～12時 参加者 6人
- (l) 正月飾り作り(玄関用) 12月17日(土)9時30分～12時 参加者 14人
- (m) 百人一首 1月4日(水)13時30分～15時 参加者 7人
- (n) 布ぞうり作り(連続講座) 2月18日(土)、同19日(日)いずれも9時30分～12時 参加者 計12人



写真左上 民話の語り
写真左中 正月飾り作り
(玄関用)
写真左下 布ぞうり作り
写真右上 伝承郷寄席
写真右中 押し花カレン
ダー作り
写真右下 百人一首



b 学社連携

- (a) 中央台みなみ土曜学級(昔遊び体験) 8月27日(土)10時～12時 参加者 21人
- (b) いわき市立中央台南小学校5年生(脱穀体験) 10月31日(月)9時30分～11時30分 参加者 21人
- (c) 松村看護専門学校(縄もじりとりんぼう作り体験) 11月16日(水)12時～15時20分 参加者 31人

- (d) 中央台みなみ土曜学級（伝承郷ウォークラリー） 12月17日(土)10時～12時 参加者 13人
- c 共催事業
- (a) 里山の暮らし体験（市民団体・ふるりの気） 5月22日(日)～3月19日(日)いずれも9時30分～14時 8回実施 4月17日(日)、7月17日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)は中止 参加者 計50人
- (b) 津軽こぎん刺し体験教室（塩谷美江氏） 4月20日(水)、7月6日(水)いずれも9時～12時 参加者 計19人
- (c) 木よう体験教室（工房光・萩原光明氏） 4月21日(木)～3月30日(木) 毎週木曜日いずれも10時～15時 49回実施 参加者 計513人
- (d) フラワーアレンジメント教室（落合陽子氏） 4月22日(金)～3月24日(金) 原則第4金曜日いずれも10時30分～15時30分 12回実施 参加者 計118人
- (e) ハーモニカ演奏会（泉ハーモニカクラブひばり） 6月4日(土)、10月1日(土)、3月4日(土)いずれも10時30分～11時30分 鑑賞者 計99人
- (f) 小雀落語会（小名浜雀笑落語会） 6月5日(日)、9月25日(日)、12月4日(日)いずれも14時～16時 鑑賞者 計113人
- (g) セタコンサート（箏アンサンブル雷神） 7月10日(日)14時～15時 鑑賞者 26人 写真下
- (h) 貯筋体操&レク・スポーツ（いわきFスポーツクラブ） 7月20日(水)～1月25日(水) 毎週水曜日いずれも13時30分～15時 16回実施 9、10月は中止 参加者 計157人
- (i) 篠笛演奏会（いわき濤笛会） 9月11日(日)、3月5日(日)いずれも14時～15時30分 4月10日(日)は中止 鑑賞者 計52人 写真右
- (j) ギターコンサート（コン・アモーレ） 10月15日(土) 14時～15時 鑑賞者 28人
- (k) 朗読会『百万回生きたねこ』佐野洋子：「老い」「生」について小気味なるエッセイ（朗読サロン「ミモザ」） 11月26日(土)13時～14時 鑑賞者 39人
- (l) 新春箏コンサート（筑紫野会） 1月8日(日)14時～15時 鑑賞者 37人 写真右
- (m) 伝承郷絵手紙教室（茨木美奈子氏） 2月8日(水)10時～12時 参加者 5人
- (n) フラメンコライブ「Cocuu」（リベルラスロハス） 3月21日(火・祝)14時～15時30分 鑑賞者 47人
- d キッズミュージアムin伝承郷 7月17日(日)10時～12時 参加者 119人 写真下左
- e キッズじゃんがら体験教室（連続講座） 9月4日(日)、同18日(日)いずれも10時～11時30分 受講者 計43人 写真下右



(エ) 伝統芸能実演

市内に残る伝統芸能である「じゃんがら念仏踊り」と「三匹獅子舞」の実演は伝承郷での毎年の恒例となっており、楽しみに来園される方も多い。本年度は「平窪子供じゃんがら」と大熊町に伝わる「熊川稚児鹿舞」の実演を行った。

- a 平窪子供じゃんがら 8月6日(土)13時30分～14時30分 鑑賞者 18人

b 熊川稚児鹿舞 8月28日(日)11時～12時 鑑賞者 31人

(㌧) 年中行事再現

季節の節目にいわき地方で行われている様々な年中行事を再現・展示した。年配の来園者には懐かしさを思い出し、若い世代や子どもたちにはあまり目にすることがない年中行事を見ることで、地域に受け継がれた風習に興味を持つきっかけとなった。また、年中行事の再現は写真愛好家の被写体としても関心を集めた。

a おひなさま (令和3年度から継続展示) 2月20日(日)～4月10日(日) 写真右上



b 端午の節句飾り 4月17日(日)～6月12日(日)

c 七夕飾り 7月7日(木)～8月8日(月)

d 盆棚飾り 8月5日(金)～8月15日(月)

e 蚊帳吊り 8月15日(月)～10月21日(金)

f 二百十日 8月31日(水)

g お月見・お月見どろぼう 9月10日(土) (旧暦8月15日)

h エビスコ 11月13日(日) (旧暦10月20日)

i 干し柿作り 11月13日(日)

j 神帰 11月24日(木) (旧暦11月1日)

k 煤払い 11月23日(水・祝)～12月12日(月)

l こと八日 12月8日(木)

m 餅つき 12月26日(月)

n 正月飾り 12月28日(水)～1月15日(日) 写真右中

o 山入り 1月6日(金)

p 農立て 1月11日(水)

q 小正月の餅花飾り 1月15日(日) 写真右下

r 節分 2月3日(金)

s 初午 2月5日(日)

t こと八日 2月8日(水)

u エビスコ 2月10日(金) (旧暦1月20日)

v おひなさま 2月25日(土)～4月9日(日)



(㍻) 調査研究

市内各地の民俗の記録撮影や関係者への聞き取り調査、市民からの民具寄贈受け入れや民具調査を通年で行った。

a 戦時中の金属類供出に関する資料調査 4月24日(日)

b 熊川稚児鹿舞関連の調査 4月～8月 熊川稚児鹿舞保存会(大熊町)によって传承されている熊川稚児鹿舞について、写真・映像による記録撮影及び演者への聞き取り調査を実施した。写真右



c 小川江筋関連の調査 4月～6月 小川江筋流域の記録撮影及び小川江筋土地改良区の関係者への聞き取り調査を実施した。また、小川江筋流域の寺社などにも調査の協力を仰いだ。以上の成果については、第1回企画展「磐城平藩内藤家入封400年記念 小川江筋と昔の農業」に活用した。

d いわき市内のじゃんがら念仏踊り関連の調査 6月～10月 平窪伝統芸能クラブ、下綴青年会、高野じゃんがら念仏保存会、戸田じゃんがら念仏保存会、上仁井田じゃんがら保存会、上仁井田子どもじゃんがら保存会、大利じゃんがら保存会、下好間じゃんがら念仏保存会のじゃんがら念仏踊りについて、写真・映像による記録撮影及び演者への聞き取り調査を実施した。

e 愛谷江筋関連の調査 6月～11月 愛谷江筋は江戸時代のはじめに開削された農業用水で、藩主の命を受け三森治右衛門が工事の指揮を執った。明治時代に治右衛門の功績を称えた記念碑が建立されている。今年度はこの記念碑を採拓したほか、江筋開削中に発見された石室と出土物について記載されている『國魂石室記』とその出土遺物、明治19年に描かれた絵図の撮影などを行った。

- f いわき市内の三匹獅子舞関連の調査 8月～10月 下平窪青年会、沼ノ内青年会、高坂郷土芸能保存会の三匹獅子舞について、写真、映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- g 馬玉神楽の調査 8月27日(土) いわき市常磐馬玉町で伝承されている馬玉神楽について、写真、映像による記録撮影、及び演者への聞き取り調査を実施した。
- h 鳥小屋の調査 1月7日(土) いわき市豊間の鳥小屋を見学し、聞き取り調査を行った。
- i 水祝儀の調査 1月9日(月) いわき市沼ノ内の水祝儀を見学し、聞き取り調査を行った。
- j 民具寄贈の受け入れ 4月1日(金)～3月31日(金) 農具や節句飾り、キセルや煙草盆など36件(計429点)の受け入れを行った。

(キ) 園内管理事業(業者委託を除く)

園内景観復元・伝承・管理事業を一部ボランティアの協力を得ながら実施している。内容は、畑作(耕作・除草)、里山づくり(下草刈り・落葉集め等)、除草(民家周辺・通路)、落ち葉掻き・堆肥作り、植木剪定・枝落とし、垣根作り、池の浚渫、古民家清掃(ハタキ・掃き・雑巾がけ・障子張り)、囲炉裏火焚き、薪作り(切り出し→裁断→運搬→乾燥→薪割り→乾燥)、花木の展示(民家神棚等)、園内危険箇所点検・修繕などである。

古民家は維持管理を行いながら、生活の場として使われていた当時を展示するために、薪や餅花、神棚の櫛などを配し、季節に応じた模様替えを行うとともに、民家周辺の除草や庭木の手入れなどを行い園内の景観維持に努めている。また、民家ゾーンでは、景観の素朴さから結婚式の前撮りやアニメファンがキャラクターの装束に扮し記念撮影を行う場所としても注目を集めている。記念撮影をする来園者の多くは市外からの来訪者で、文化財を観光資源として活用する方法にも広がりが見えてきた。

(ク) ボランティア育成事業

活動は大きくガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事の3つに分かれる。内容は、ガイドは団体の来園者に対する案内が主で、月に1回研修を行い案内に必要な知識を学んでいる。花と野菜作り、民家維持管理の活動は不定期であるが、ボランティアそれぞれが活動日を決め、希望の内容に沿って囲炉裏の火焚きや民家の清掃などの活動を行う。年中行事は施設側が日程を決め、事前に活動を依頼し行う。年間を通して様々な活動に多くのボランティアが参加し、施設の運営を支えている。

- a ガイドボランティア例会 4月25日(月)～3月27日(月) 原則毎月第4月曜日いずれも13時30分～15時 12回実施 参加者 計87人
- b 園内ガイド、花と野菜作り、民家維持管理・年中行事 4月1日(金)～3月31日(金) 参加者 計1,044人

(ケ) 団体利用

園内の古民家・昔の道具等の解説や昔遊び・石臼の使い方などの体験指導を実施した。次のように56団体、計2,571人が利用した。

4月22日(金) いわき市立綴小学校 16人	同14日(水) いわき市立江名小学校 16人
同28日(木) 双葉町立双葉南・北小学校 14人	いわき市立小名浜第三小学校 78人
6月23日(木) 特定非営利活動法人ワークハウスいわき 35人	いわき市立豊間小学校 27人
7月20日(水) 学校法人まこと学園まこと幼稚園 97人	同15日(木) いわき市立菊田小学校 74人
同25日(月) 白河市中央公民館 18人	いわき市立平第二小学校 68人
8月27日(土) 中央台みなみ土曜学習 21人	同16日(金) いわき市立赤井小学校 45人
9月2日(金) いわき市立中央台南小学校 40人	いわき市立平第四小学校 45人
同7日(水) いわき市立夏井小学校 9人	いわき市立勿来第二小学校 55人
同8日(木) いわき市立御厩小学校 52人	いわき市立藤原小学校 29人
同9日(金) いわき市立小川小学校 36人	同21日(水) いわき市立小玉小学校 50人
いわき市立草野小学校 80人	いわき市立平第五小学校 99人
いわき市立錦小学校 61人	同22日(木) いわき市立高坂小学校 74人
いわき市立小名浜第一中学校 48人	いわき市立長倉小学校 66人
福島県立聴覚支援学校平校 4人	いわき市立久之浜第一小学校 26人

同29日(木)	いわき市立好間第二小学校	30人	同27日(木)	いわき市立小名浜第二小学校	84人
同30日(金)	いわき市立永崎小学校	53人	同28日(金)	いわき市立川部小学校	10人
	いわき市立湯本第一小学校	68人	同31日(月)	いわき市立中央台南小学校	21人
10月 3 日(月)	いわき市立磐崎小学校	94人	11月16日(木)	松村看護専門学校	31人
同 6 日(木)	いわき市立大浦小学校	44人	12月17日(土)	中央台みなみ土曜学習	13人
	いわき市立平第三小学校	52人	1 月18日(木)	いわき市立高久小学校	19人
同 7 日(金)	いわき市立植田小学校	84人	同26日(木)	いわき市立中央台東小学校	46人
	いわき市立内町小学校	25人	同27日(金)	いわき市立中央台北小学校	39人
	いわき市立勿来第一小学校	57人	2 月 3 日(金)	いわき市立鹿島小学校	36人
同13日(木)	いわき市立平第一小学校	67人		福島県いわき海浜自然の家「第5 回わくわく自然体験」	26人
同14日(金)	いわき市立平第六小学校	48人	同11日(土)	日本大学工学部	15人
	いわき市立湯本第三小学校	68人	3 月27日(月)	北茨城市「むかし体験教室」	14人
同20日(木)	いわき市立泉小学校	177人			
	いわき市立高野小学校	10人			
同24日(月)	学校法人松崎学園神谷こども園	42人			

(コ) 出前講座

要請を受け、いわきのじゃんがら今昔についての講座や、昔の暮らしや道具の説明、石臼と洗濯板の使い方の体験指導を行った。2団体、計86人が受講、体験した。詳細は55頁のとおり。

(ケ) 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、2事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

(シ) 企画展示室使用状況

「親子三人展」 1月26日(木)～1月30日(月) 田中佑季明氏の母・姉との三人展。絵画や写真、書籍等が展示された。入園者 71人

(ス) 事業懇談会について

a 第1回事業懇談会

日時 9月19日(月・祝)10時～11時30分

委員 6人出席

議題 懇談事項1 令和3年度事業報告について

懇談事項3 令和4年度事業経過報告(4～8月)及び事業計画(9～3月)について
その他事項

b 第2回事業懇談会

日時 3月5日(日)10時～11時

委員 7人出席

議題 懇談事項1 令和4年度事業経過報告(9～2月)について

懇談事項2 令和5年度 事業計画について

その他事項

ウ いわき市勿来関文学歴史館

いわき市勿来町関田長沢6番地の1 昭和63年7月1日開館

委 託 者 いわき市 指定管理期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日
管理委託料 36,125,800円（事業受託費含む）

令和4年度の利用者数は8,586人で、昨年度と比べて3,359人の増となった。昨年度はいわき市の「感染拡大防止一斉行動」や福島県の「まん延防止等重点措置」を受け、70日間が臨時休館となったが、今年度は通常開館に戻ったため、利用者が大幅に増えた。利用者が増えた要因としては、行動制限の緩和や旅行支援の充実などにより、勿来の関公園を訪れる観光客数が新型コロナ感染症流行前の水準に戻ってきたことが考えられる。

また、新型コロナ感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)から5月15日(日)までの期間は、事業実施について適宜検討、対応した。本報告で事業を延期または中止、縮小しているのは、以上のことが理由である。さらに、新型コロナ感染症感染防止対策を定めたいわき市の「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、施設の管理運営や事業を実施した。

なお、付近の倒木に伴う館内の停電により、9月5日(月)を臨時休館とした。

(ア) 企画展

企画展・スポット展示については、一般にはあまりなじみのない文学や歴史を紹介した企画が多かったように思われるが、いわきゆかりの文学や歴史に関する今まで知らなかったことを学べて良かったという意見がアンケートに多く寄せられるなど、高い評価を得ていたことがうかがえる。会期中には、関連事業として講演会やギャラリートークを開催した。講演会には企画展の内容に関連する分野を研究する外部の研究者を講師に迎えて、最新の研究成果を市民に分かりやすく普及したことで、企画展に関する分野をより深く理解できたと好評だった。また、毎月1回ギャラリートークを開催し、学芸員が展示内容を詳しく解説した。

なお、第2回企画展「徹底解説！磐城七浜捕鯨絵巻」は、暮らしの伝承郷令和4年度第1回企画展「小川江筋と昔の農業」などと同じく「磐城平藩内藤家入封400年記念」として開催し、スポット展示1「白木英尾」は、草野心平記念文学館が所蔵する白木英尾関係資料を展示するなど、市内文化施設との連携も図った。

a 令和3年度スポット展示2「幕領小名浜の代官たち」

会 期 2月19日(土)～4月19日(火)

入 館 者 1,965人〔4月1日(金)～4月19日(火)は1,071人〕

内 容 いわき市小名浜には幕領を管轄する代官所があった。幕領小名浜を治めた歴代の代官たちの治績やエピソードを紹介した。

関連事業 ギャラリートーク 4月10日(日)14時～14時30分 聴講者 22人

b 第1回企画展「大須賀乙字の仲間たち～近代俳句の青春～」

会 期 4月23日(土)～7月3日(日)

入 館 者 1,417人

内 容 いわき市出身の俳人大須賀乙字やその友人たち、小澤碧童・喜谷六花・村上鬼城・荻原井泉水などの書簡や作品から、明治・大正時代の俳人群像を紹介した。いわき市出身の俳人・俳論家で明治・大正時代に活躍した大須賀乙字の生涯や俳句について、令和元年度第1回企画展「乙字のトランク」に続いて、師である河東碧梧桐や同門の小澤碧童、喜谷六花、荻原井泉水、俳句仲間だった臼田亜浪、大谷句仏、中村不折、高浜虚子、坂本

いわき市勿来関文学歴史館 令和4年度第1回企画展

大須賀乙字の仲間たち
～近代俳句の青春～

令和4年4月23日(土)～7月3日(日)
休館日 5月18日(水)・6月15日(水)

会期中のイベント

講演会
講 師 「大須賀乙字の生涯」
～『大須賀乙字の生涯』を基に～
主 持 河東碧梧桐(河東碧梧桐文学館)
日 時 5月14日(土) 14:00～15:30
場 所 企画展示室 観覧料(当日は別)
定 員 25名(先着順、要予約)

ギャラリートーク(要予約)
主 持 山本家・中村不折・小澤碧童
日 時 4月30日(土) 14:00～15:30
場 所 企画展示室 観覧料(当日は別)
定 員 25名(先着順、要予約)

開館時間 9:00～17:00

〒979-0146 福島県いわき市勿来町関田長沢6-1
Tel: 0246-65-6166 Fax: 0246-65-6167
E-mail: bunshi@iwaki-mokuai.or.jp

関連事業

- [illegible]

関連事業

- d 第3回企画展「動乱の中の猪狩家～戦国時代の岩城氏家臣～」

会 期 11月19日(土)～2月14日(火)

入館者 1,906人

内容 猪狩家は戦国時代、いわき市周辺を治めた岩城氏に仕えていた家である。近年発見された猪狩家に伝来した古文書を通して、猪狩家とこの時代を紹介した。戦国時代のいわき地方の歴史について、最新の研究成果を反映させ、周辺勢力との関係も分かるように解説した。展示品の古文書は、漢文調で書かれていて市民にとって非常に難解なので、解説に読み下し文だけでなく、内容が簡潔に分かる見出しを記載して、少しでも簡単に感じてもらえるよう心掛けた。これまで戦国時代を主題とした企画展が市内で開催されたことが少なかったため、戦国時代の歴史を紹介できたことに一定の意義があったと思われる。

関連事業

- いわき市芥川文庫歴史館 令和4年度第3回企画展
- # 動乱の中の猪狩家
- 戦国時代の岩城氏家臣
-
- 奥州
純
- 令和4年度第3回企画展
- 令和4年11月19日(土)~令和5年2月14日(火)
- 休館日 12月21日(水)・1月1日(日)・1月18日(水)
- ## 会期中のイベント
- 講演会「猪狩と大動乱の時代―猪狩と大動乱はなぜ同時代―」
- ① 猪 狩 大 動 乱 は、14 00 年、15 00 年
 - ② 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ③ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ④ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ⑤ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- ペットボトルで「マイトリジェー」
オールドボトル、お持ち帰り！
- ① 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ② 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ③ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ④ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
 - ⑤ 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱 猪 狩 大 動 乱
- 猪 狩 大 動 乱

に一」 2月4日(土)14時～15時30分 菅野正道氏(元仙台博物館学芸普及室長)を講師に招き、戦国時代の岩城氏と伊達氏の外交関係について講演した。従来の研究にはない説も交えた内容で、いわき地方の戦国時代の様相を周知する良い機会となった。 聴講者 46人

(b) ギャラリートーク 12月11日(日)、1月15日(日)、2月12日(日)いずれも14時～14時30分 聴講者計35人

e スポット展示1「白木英尾」

会 期 9月24日(土)～11月15日(火)

入 館 者 1,152人

内 容 いわき市平赤井生まれの歌人・白木英尾は前田夕暮に師事し、福島県歌人會會長を務め、福島民報歌壇の選者としても活躍した。その生涯と足跡を原稿や著作などでたどった。白木英尾の生い立ちから前田夕暮との親交の様子、いわきや福島県の歌壇での活躍について、英尾が遺した2冊の歌集に関わる資料など、晩年に至るまでの歩みを自筆資料や雑誌、書籍、愛用品などの資料で紹介した。前田夕暮から贈られた掛軸や自筆の夕暮歌集、英尾の歌集のために寄せられた中山義秀の自筆原稿など多くが今回初めて市民に公開された。英尾の短歌作品やいわき市短歌連盟の前身の岩城歌話会、福島県歌人會の創設に携わるなど昭和のいわき歌壇や福島県歌壇を先導した英尾の活動について理解を深める機会となったと思われる。



関連事業

(a) 講演会「白木英尾と浜通りの歌人」 10月29日(土)14時～15時30分 聴講者 22人 伊藤正幸氏(いわき市短歌連盟会長・福島民友新聞短歌欄選者)を講師に招き、白木英尾の功績や主な浜通りの歌人の系譜について講演した。いわきの歌壇の歴史について造詣が深い伊藤氏により、英尾の短歌作品についての詳細な解説や、同時代の歌人たちの動静にも言及して、英尾の生涯を掘り下げた内容であった。大内与五郎、阿部良全などいわき市出身の歌人たちのほか、大熊町出身の佐藤祐禎などの紹介もあり、いわきだけではなく浜通りの歌人たちの業績や作品についても知っていただけた。

(b) ギャラリートーク 9月25日(日)、10月9日(日)、11月13日(日)いずれも14時～14時30分 聴講者計5人

f スポット展示2「いわきの絵はがき～勿来関と勿来海岸～」

会 期 2月18日(土)～4月18日(火)

入 館 者 1,185人 [2月18日(土)～3月31日(金)]

内 容 勿来関と勿来海岸の絵はがきを中心に風景画や観光資料なども展示し、勿来関周辺の時代ごとの遷り変わりについて紹介した。明治時代から昭和時代にかけて観光地として発展した現在のいわき市勿来町の風景が描かれた当館蔵の絵はがきを中心に展示し、勿来関・勿来入口・勿来海岸・二つ島・勿来海水浴場にまつわる歴史を解説した。特に、昭和時代の風景を描いた絵はがきを見て、過去を懐かしむ声や現在とは違う光景に驚いたという感想が多く、当該地域の歴史を周知できたことに一定の意義があったと思われる。

関連事業 ギャラリートーク 3月12日(日)14時～14時30分 聴講者 6人

(イ) 市民ギャラリー展示

市民ギャラリーの利用は8回あり、うち3回は今回初めて利用する団体・個人だった。今回初めて利用した「俳句作品展示会」(月俳句会・川部俳句会主催)と、例年利用している「短歌作品展」(勿来短歌を楽しむ会主催)は、それぞれ内容が関連する企画展「大須賀乙字と仲間たち」、スポット展示「白木英尾」の会期中に開催したことで、効果的に利用者数を増やせた。今回初めて利用した、いわき市出身のアーティストによる作品展「君ヲ迎エル詩」(金澤裕子主催)も、普段当館を利用しない美術愛好家などの層が多く訪れた。

a 「第12回『勿来八景』フォトコンテスト入選作品展」(令和3年度)

主催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議会 3月17日(木)～4月8日(金) 第12回「勿来八景」

フォトコンテスト入選作品を展示した。

b 「第35回勿来の関歌会入選作品」

主催 勿来ひと・まち未来会議 4月1日(金)～3月31日(金) 第35回勿来の関歌会入選作品を展示した。

c 「俳句作品展示会」

主催 月俳句会、川部俳句会 4月10日(日)～5月8日(日) いわき市内に拠点を置いて活動する月俳句会、川部俳句会が合同で作品を展示した。

d 「原爆と人間」

主催 いわき市 8月1日(月)～同16日(火) 原爆の悲惨さや核廃絶の取り組みなどを紹介した。

e 「短歌作品展」

主催 勿来短歌を楽しむ会 10月20日(木)～11月19日(土) 勿来地区で活動する短歌会が作品を展示し、会員の活動成果を発表した。

f 「君ヲ迎エル詩～金澤裕子絵画展～」

主催 金澤裕子 11月29日(火)～1月3日(火) いわき市・双葉郡の風景を描いたアクリル画とその風景にまつわる詩、いわきにゆかりのある名作「安寿と厨子王物語」絵本原画を展示した。

g 「櫻花～日本人の心の情景に寄せて～」

主催 稲田幹夫 2月16日(木)～3月14日(火) 市内在住の写真家が撮影した桜の写真を展示した。

h 「第13回『勿来八景』フォトコンテスト入選作品展」(令和4年度)

主催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議会 3月18日(土)～4月6日(木) 第13回「勿来八景」フォトコンテスト入選作品を展示した。

(ウ) 特別事業

今年度初めて、ゴールデンウィーク特別イベントとして「勿来の関寄席」を開催した。日本の伝統文化である落語を平安時代の邸宅を模した吹風殿で聴講するという趣向もあって、参加者に変大好評だった。

クラフト教室について、以前は当館職員が講師を務めていたが、今年度は外部講師を招いて開催した。なお、外部講師の活用は、昨年度予定していたクラフト教室でも計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催中止となっていた。夏休みに開催した「夏休みわくわくバルーンアート教室」では、市内在住のバルーンアーティストの指導により、バルーンでクジラを制作した。冬休みに開催した「ペットボトルで『マイトレジャーオーナメント』を作ろう!」では、市内出身のアーティストらの指導により、演劇鑑賞とクリスマスオーナメント制作を行った。専門家の指導により内容が充実し、好評の声が多かった。

a 「勿来の関寄席」

4月30日(土)14時～15時30分 日本の伝統文化を普及する事業として、いわき市在住の落語家、山椒家小粒氏、武相亭八木助氏による寄席を開いた。参加者 29人

b 「夏休みわくわくバルーンアート教室～くじら～」

8月7日(日)10時～11時30分 馬籠洋子氏(バルーンアーティスト)の指導により、バルーンでクジラを制作した。参加者 11人

c 「ペットボトルで『マイトレジャーオーナメント』を作ろう!」

12月24日(土)13時～15時 一般社団法人AILESと金澤裕子氏の指導のもと、ペットボトルを使いクリスマスオーナメントを制作した。ワークショップの導入として演劇も行った。参加者 21人

(エ) 協力・後援

市内文化施設との連携では、いわき市立美術館ニューアートシーン・イン・いわき「竹内公太展～浜の向こう～」の関連事業として開催されたツアー「浜の記憶をさぐる」の案内人を、当館職員が務めた。

地域との連携では、「勿来八景」フォトコンテスト及び勿来の関歌会の審査員を当館館長が務め、作品展示会場として市民ギャラリーを提供した。

a ニューアートシーン・イン・いわき「竹内公太展～浜の向こう～」(協力)

主催 いわき市立美術館 10月16日(日)10時～12時 当館職員が会期中の催し物であるツアー「浜の記憶をさぐる」の案内人として、勿来町関田地区にある風船爆弾基地跡を巡った。参加者 13人

b 第13回「勿来八景」フォトコンテスト(後援)

主催 いわき市南部地区中心市街地活性化協議会 当館館長が審査員を務めた。入選作品展の会場

として市民ギャラリーを提供した。

c 第36回勿来の関歌会（協力）

主催 勿来ひと・まち未来会議 当館館長が審査員を務めた。入選作品展の会場として、令和5年度に市民ギャラリーを提供することを予定している。

(f) 団体利用

各種団体に対し常設展・企画展について解説し、勿来関にまつわる歴史や文学などを詳しく周知した。次のように24団体、計618人が利用した。

4月6日(水)	年金者組はいわき支部	30人	同21日(月)	ユニバーサルトラベル	15人
同28日(木)	いわき市立勿来第一小学校	55人		五十年会	10人
5月6日(金)	福島県立いわき支援学校くぼた校	14人	同22日(火)	いわき市立久之浜第一小学校	20人
同10日(火)	いわき市立勿来第二小学校	89人	同25日(金)	一宮町農業委員会	7人
6月14日(火)	いわき市立勿来第三小学校	10人	同29日(火)	大島二丁目緑寿会	18人
7月8日(金)	いわき市立小名浜第二小学校	69人	12月15日(木)	アルファ謝恩忘年会	24人
9月13日(火)	いわき市立錦小学校	61人		いわき市旅館・ホテル業連絡協議会	10人
同16日(金)	いわき市立藤原小学校	23人	同30日(金)	平成観光自動車	22人
10月14日(金)	いわき市立入遠野小学校	20人	2月16日(木)	美乃浜学区明るい地域づくりの会	17人
同26日(水)	いわき市立千寿荘	39人	3月9日(木)	東京ヤサカ観光バス	20人
	古河電池株式会社	12人	同17日(金)	世田谷海外研修の会	10人
11月6日(日)	やまぶき会	6人			
同12日(土)	双掌の会	17人			

(g) 出前講座

要請を受け、地域の歴史や文学を解説し、受講者の知的好奇心に応えた。1団体14人が受講した。詳細は54頁のとおり。

(h) 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、1事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

(i) レファレンス対応

- a 収蔵資料の調査 1件
- b 収蔵資料の貸出・返却 1件
- c 問い合わせ対応 3件

(j) 博物館実習の受け入れ

事業の運営補助や収蔵資料の整理、展示解説資料の作成などを行った。

8月5日(金)～同9日(火) 2人（都留文科大学1人、中央大学1人）

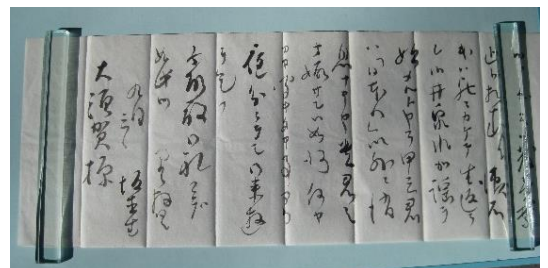
(k) 調査研究

- a 大須賀乙字関連資料の調査 2月～4月

いわき市で幼少期を過ごした俳人大須賀乙字について、当館に所蔵している友人たちから乙字へ宛てた葉書、書簡を調査し、解説した。以上の成果については、第1回企画展「大須賀乙字と仲間たち」に活用した。

- b 近世捕鯨関連資料の調査 5月～6月

いわき地方に関係する近世捕鯨関連資料を調査した。以上の成果については、第2回企画展「徹底解説！磐城七浜捕鯨絵巻」に活用した。



大須賀績（乙字）宛坂本四方太書簡（当館蔵）

c 白木英尾関連資料の調査 7月～9月

いわき市立草野心平記念文学館が所蔵する白木英尾関連資料を調査した。以上の成果については、スポット展示1「白木英尾」に活用した。

d 戦国期猪狩氏関連資料の調査 9月～11月

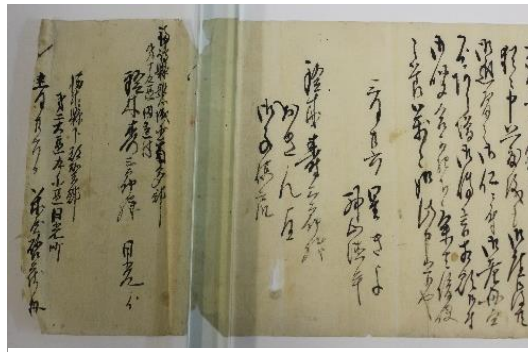
戦国期岩城氏家臣猪狩氏関連資料の解読などを行った。以上の成果については、第3回企画展「動乱の中の猪狩家」に活用した。

e 勿来関関連の絵はがきの調査 10月～2月

絵はがきや観光資料をもとに勿来関周辺の整備過程について調査した。以上の成果については、スポット展示2「いわきの絵はがき」に活用した。

f 鈴木家文書の整理 11月～12月

円山四条派の画家として知られる鈴木寿山を出した家でもある、現在のいわき市渡辺町に居住していた鈴木家に伝来した史料群を整理した。以上の成果については、佐藤耕太郎「いわき市勿来関文学歴史館蔵「鈴木家文書」」（『いわき市教育文化事業団研究紀要』第20号、2023年）に掲載した。



「鈴木家文書」（当館蔵）

g 松山寺文書の調査 12月～3月

科学技術調査研究費基盤研究（C）「中近世移行期における南東北地方の基礎的研究」（研究所代表者：遠藤ゆり子）の研究協力者として、松山寺（勿来町関田）所蔵文書の写真撮影などを行った。

h 山名菅村資料の調査 12月～3月

大國魂神社（平菅波）所有の山名菅村関連資料の解読などを行った。以上の成果については、令和5年度企画展「山名菅村」に活用することを予定している。



草野心平色紙（いわき市蔵）



勿来関の絵はがき（当館蔵）

(サ) 事業懇談会の開催

a 第1回事業懇談会

日時 7月11日(月)10時～11時

委員 7人出席

議題 会長の選出について

事業懇談会実施要項の改正について

令和3年度事業報告について

今後の予定について、その他

b 第2回事業懇談会

日時 3月6日(月)10時～11時

委員 6人出席

議題 令和5年度事業計画について

今後の予定について、その他

エ いわき市アンモナイトセンター

いわき市大久町大久字鶴房147番地の2 平成4年11月19日開館

委 託 者 いわき市 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日
管理委託料 26,407,000円

令和4年度の入館者数は、前年度と比べて7,724人多い14,777人であり（前年度比209.5%）、平成23年の東日本大震災以降で最も多い入館者数となった。これは昨年度に臨時休館していた期間及び主催事業を中止した期間があることや、昨年度と比較して新型コロナウイルス感染症の流行が収まってきたことから、全国的に人の移動が増加したためであると考えられる。但し9月以降、厳冬期（12月～2月）にかけては5月の連休や夏休み期間と比較して来館者が少なく、年度下半期における来館者の獲得が課題である。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」などに基づき、4月1日(金)～10月2日(日)までの期間の体験発掘については、中止や人数を上限の半分に当たる100人に制限した上で実施するなど適宜対応した。10月8日(土)からは新型コロナウイルス感染症感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、施設の管理運営や事業を実施した。また、同宣言ポスターを館内に掲示し、利用者へ周知を図った。

ア) 企画展

いわき市周辺で産出する化石では、フタバサウルスに代表されるクビナガリュウ類やアンモナイト化石が有名であるが、夏休み企画展では国内では数少ない中生代白亜紀や新生代古第三紀の陸生哺乳類化石、新生代新第三紀のゾウやクジラの化石を展示した。特に中生代哺乳類は世界的にも現在進行形で研究が進展している分野であり、常磐地域において化石が産出する意義を示した効果は大きい。冬休み企画展では、平成4年11月に開館し、令和4年で開館30年を迎えたアンモナイトセンターの年毎の出来事や来館者数の変動、施設周辺の変容などを過去の写真を交えながら展示・紹介した。

夏休み企画展、冬休み企画展ともに会期中のミニ発掘を目的に来館する利用者が見受けられ、体験発掘非実施日の入館者数増に貢献した。

a 夏休み企画展「いわきの化石哺乳類」展

会 期 7月16日(土)～8月31日(水)

入 館 者 2,980人

内 容 いわき市に分布する新生代の地層からは陸生哺乳類やクジラ等の海生哺乳類化石が多く産出し、研究が行われてきた。この企画展では、いわき市から産出する新生代の哺乳類化石を展示の中心に置きながら、常磐地域が中生代以降にどのような環境だったのかを紹介、解説した。

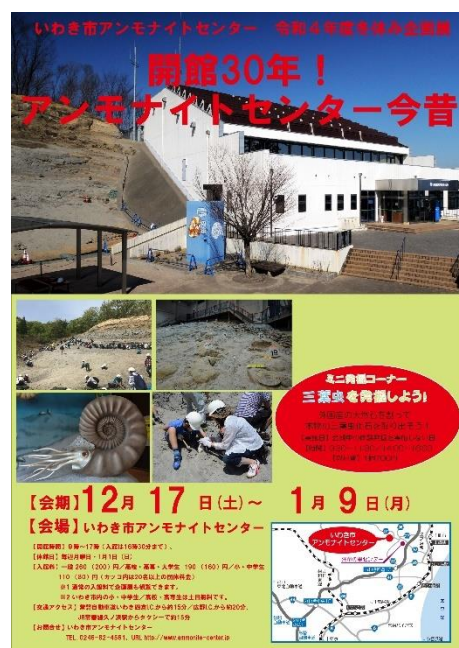
関連事業 ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の体験発掘非実施日に実施した。 参加者 183人

b 冬休み企画展「開館30年！アンモナイトセンター今昔」展

会 期 12月17日(土)～1月9日(月・祝)

入 館 者 914人

内 容 アンモナイトセンターは、今年度で開館30年を迎えた。30年の間には、東日本大震災等多くの困難が伴ったが、市民の皆様や市外から訪問してくれた方々に



支えられてきた。本展では、アンモナイトセンターの30年間の歩みを振り返るとともに、今後の展望について紹介した。

関連事業 ミニ発掘体験コーナー（三葉虫） 会期中の体験発掘非実施日に開催した。 参加者 66人

(イ) 体験学習

一般体験発掘及び特別体験発掘を合計した体験発掘参加者数は前年度の5,152人を大きく上回る10,751人（前年度比208.7%）となっている。体験発掘参加者の居住地別割合をみると、例年通り県外からの利用者の割合が多くなっている。

一般体験発掘では、既述のように、10月2日(日)までは参加上限数を定員の半分の100人で実施したが参加者数9,495人と、前年度4,453人に比べて大幅に増加している（前年度比213.2%）。

小・中学校を中心とした特別体験発掘に関しては参加団体数37（前年度比168.2%）、参加人数1,256人（前年度比179.7%）と個人向けの一般体験発掘に比べると増加の割合が小さい。利用団体の内訳を見ると、市内小学校が7校のほか市内の公共団体が3団体と市内からの利用は全体の3割（30.3%）となり、昨年度よりも団体数、割合とも低くなっている。一方、県内他市町村や県外の小・中学校や高等学校等での利用が多くなっている。また、産業技術総合研究所地質調査総合センターの社会人研修での利用や、ふくしま海洋科学館の新人研修での利用など研究機関の利用が見られる。しかし、未だに東日本大震災前の水準までは回復しておらず、特に関東圏の小・中学校からの利用はほとんどない。福島第一原発事故による風評被害により利用しなくなってしまった関東圏の小・中学校等の団体での利用促進を積極的に推し進めることが今後の課題として考えられる。

親子自然探訪教室では、地質学や古生物学に限定しない自然科学分野の多様なテーマを設定し、野外での体験を軸としたアクティブラーニングプログラムを提供した。前年度に引き続き祝日となる月曜日を主体として全5回を開設した。前年度に比べて開催回数は増加したが、一回当たりの参加者が減少したために全体の参加者数は減少している。参加者数は開催テーマや、同じテーマであっても年度によるばらつきがあり、参加者数増減の要因の分析や開催内容の検討・改編に努める必要がある。

a 一般体験発掘

毎週土曜日・日曜日、4月29日(金・祝)、5月3日(火・祝)～同5日(木・祝)、7月18日(月・祝)、9月23日(金・祝)、10月10日(月・祝)10時～11時30分、13時30分～15時。大型連休中の4月29日(金)、同30日(土)、5月3日(火・祝)～同5日(木・祝)、同7日(土)、同8日(日)は10時～11時30分・12時20分～13時50分・14時40分～16時10分の3回実施。 回数 197回 参加者 計9,495人

b 特別体験発掘 次のように37団体、計1,256人が参加した。

4月13日(水) 伊達市立霊山中学校 49人	同6日(土) いわき市神谷公民館 9人
同21日(木) 八戸市立中沢中学校 32人	同14日(日) 小川理科研究所 6人
同28日(木) 双葉町立双葉南・北小学校 18人	9月1日(木) 福島市立三河台小学校 74人
5月10日(火) 旭市立干潟中学校 45人	同9日(金) いわき市立小川小学校 36人
同14日(土) 福島県立博物館 20人	同15日(木) いわき市立平第二小学校 73人
同20日(金) 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター 12人	同16日(金) いわき市立平第四小学校 70人
同26日(木) いわき市立久之浜第二小学校 26人	同22日(木) いわき市立磐崎小学校 102人
6月3日(金) 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター 7人	10月7日(金) いわき市立植田小学校 85人
同8日(水) 本宮市立岩根小学校 65人	同13日(木) いわき市立小名浜東小学校 69人
同18日(土) 二本松市立原瀬小学校 20人	南相馬市立八沢小学校 24人
同28日(火) 天栄村立大里小学校 15人	同14日(金) 石川義塾中学校 31人
7月12日(火) 南相馬市立太田小学校 21人	同16日(日) ボーイスカウトいわき第1団 19人
同14日(木) ふたば未来学園中学校 3人	同29日(土) 須賀川東公民館 16人
同21日(木) 田村市立瀬川小学校 13人	11月10日(木) 東北高校 38人
同28日(木) 放課後ならはっ子教室 71人	同12日(土) 令和4年度再生加速化交付金事業モニターツアー 13人
8月2日(火) 銚田市子ども会育成連合会 50人	同15日(火) 郡山市立東芳小学校 34人
	12月22日(木) 仙台ECO動物海洋専門学校 8人
	12月25日(日) Vamos福島ホワイトリバーフットボールクラブ 21人

2月19日(日) 令和4年度再生加速化交付金
事業モニターツアー 31人
同21日(火) 公益財団法人ふくしま海洋科学館 5人

3月8日(水) 慶應義塾普通部 星と石の会
25人

c 親子自然探訪教室

次のように5回、計84人が参加した。

- (a) 9月10日(土) 中秋の名月を見にいこう！ 8人
- (b) 9月19日(月・祝) 不思議なキノコを探しにいこう！ 28人
- (c) 11月3日(木・祝) 陶芸に挑戦しよう！ 16人
- (d) 1月9日(月・祝) 冬の野鳥を見にいこう！ 9人
- (e) 3月19日(日) コハクを発掘にいこう！ 23人



親子自然探訪教室の様子
上左 不思議なキノコを探しにいこう！
上右 冬の野鳥を見にいこう！
下左 陶芸に挑戦しよう！

(ウ) 化石講演会

1月27日(金)13時30分～15時 「解き明かせ、恐竜のナゾ」 講師 田中康平氏（筑波大学生命環境系 助教） 会場 いわき市立久之浜第一小学校、同第二小学校、同久之浜中学校（アンモナイトセンターからリモート配信）

(エ) 出前講座

要請を受け、いわきの恐竜に関する講義や、化石のクリーニング体験等の体験事業を実施した。6団体、計144人が受講した。詳細は55頁のとおり。

(オ) 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、1事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

(カ) 調査研究活動

アンモナイトセンターが立地する双葉層群足沢層に関して、古生物学的、堆積学的、地球化学的な観点からの研究を諸機関と合同で行った。

- a 筑波大学との共同研究として、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石について研究を行った。
- b いわき市四倉町八茎に分布する時代末詳古生層について現地にて地質調査を行った。
- c 茨城大学、名古屋大学博物館、公益財団法人深田地質研究所と共同で行った「アンモナイトセン

ター内化石包蔵地」に関する地質学的・地球化学的研究についての論文が日本地質学会誌「地質学雑誌」に受理、掲載された。

- d 公益財団法人深田地質研究所、福島県立博物館、三笠市立博物館、茨城大学、いわき自然史研究会との共同研究として、アンモナイトセンターの体験発掘露頭から産出したアンモナイト類化石の研究を行った。

(キ) 自然科学系他館との連携事業

- a 企画展「アンモナイト合戦」のため、福島県立博物館にアンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した化石やアンモナイトの復元模型を貸与した。
- b 共同研究先の筑波大学に、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した脊椎動物化石を貸与した。
- c 夏休み企画展における展示標本として、双葉層群足沢層産出の「原始哺乳類の下あご化石」を広野町教育委員会より借用した。
- d 企画展「アンモナイトの不思議～太古の海の不思議な生き物～」のため、栃木県立博物館にアンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した化石を貸与した。
- e 共同研究先の公益財団法人深田地質研究所に、アンモナイトセンター敷地内の双葉層群足沢層から産出した二枚貝化石を貸与した。

(ク) 刊行物

月刊アンモナイト通信 第4巻4号～12号、第5巻1号 毎月1号刊行

(ケ) 資料整理事業

いわき市所有の化石標本等について、登録作業を行った。(I-423336～I-423430)

(コ) 運営委員会

a 第1回運営委員会

日時 6月24日(金)10時～11時

委員 7人出席

議題 報告第1号 令和3年度事業について

報告第2号 令和4年度第1四半期(4～5月)の事業について

報告第3号 令和4年度第2四半期以降の事業計画について

b 第2回運営委員会

日時 2月10日(金)10時～11時

委員 7人出席

議題 報告第1号 令和4年度2月期迄の事業について

報告第2号 令和4年度3月の事業計画について

報告第3号 令和5年度の事業計画について

オ いわき市考古資料館

いわき市常磐藤原町手這50番地の1 平成9年12月1日開館

委 託 者 いわき市 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日
管理委託料 17,446,000円

令和4年度の利用者は5,903人となり、前年度比509人、9.4%増加した。内訳は、入館者が5,246人で前年度比634人増、出前講座などの館外利用者は24件657人で、前年度比9件、125人減となった。また、団体入館者は、31件785人で、前年度比13件、83人増となった。

主な事業は、企画展・講座・講演会、体験学習会で、いわき市内の遺跡とその発掘調査の成果をもとに地域の歴史と魅力を紹介した。いずれも5年間の指定管理期間の計画に沿うとともに、平城跡の発掘調査等、地域の特色にちなんだ展示会、講座を弾力的に企画、実施した。

また、小学校の校外学習等をはじめとした児童、生徒の団体利用を受け入れ、わかりやすい展示解説はもとより、まが玉づくりなどの体験学習を実施し、歴史への関心、理解を深める機会とした。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)～5月15日(日)の期間は、事業実施について適宜検討、対応した。本報告で事業を延期または中止、縮小しているのは、以上のことが理由である。その後は、感染防止対策を定めた「感染防止いわきスタイル宣言」に基づき、同宣言ポスターを館内に掲示し、利用者へ周知を図りながら管理運営や事業を実施した。

(ア) 企画展

「令和3年度発掘速報展」「いわきの縄文時代を探る いのりのかたちー縄文人の造形ー」「いわきの縄文時代を探る 貝塚に学ぶ」の3企画展を開催した。前年度の発掘調査の報告、そして指定管理4年目の時代区分として縄文時代を主題とした企画展を実施した。

市内での最新の発掘調査の成果を展観した「発掘速報展」では、これまでのアンケートの意見をもとに遺跡毎の地図パネルを掲示するなど、よりわかりやすい展示内容とした。平城跡の展示では「城の遺構や明治期のものが出てきた事に新しい発見があった」という感想が寄せられるなど、地域の歴史を紹介する機会となった。

企画展「いのりのかたちー縄文人の造形ー」「貝塚に学ぶ」では、「儀式」「祭祀」という特徴的な視点で遺物を展観したことで、「貴重な数々を拝見できて良かった」「興味深い展示品がたくさんあり、とても勉強になりました」という感想が寄せられ、いにしへのいわき地域で自然と調和を図っていた縄文人の精神文化の一端を紹介する機会となった。一方、より丁寧な解説を求める意見もあり、今後、改善を図ってきたい。

a 第1回企画展「令和3年度発掘速報展」(共催 公益財団法人いわき市教育文化事業団)

会 期 4月23日(土)～7月3日(日)

入 館 者 1,227人

内 容 令和3年度に試掘・確認調査、発掘調査、整理作業を実施した遺跡の成果を、出土遺物と写真パネルを使って解説した。

紹介遺跡 平城跡、岡ノ内遺跡、新林遺跡、地藏院前遺跡、花ノ井遺跡、泉F遺跡、梅ノ作瓦窯跡群、下船尾遺跡、餓鬼堂横穴群、小浜西ノ作遺跡

関連事業

(a) 遺跡報告会 5月8日(日)13時30分～15時 平城跡、新林遺跡、地藏院遺跡、梅ノ作瓦窯跡群の発掘成果を財団職員が報告した。 聴講者 16人

(b) 展示解説会 5月8日(日)15時～16時、6月19日(日)13時～14時 聴講者 24人



b 第2回企画展「いわきの縄文時代を探る いのりのかたちー縄文人の造形ー」

会 期 7月16日(土)～11月20日(日)

入 館 者 2,326人

内 容 縄文時代の「いのり」に焦点を当て、いわき市内から出土した多くの「いのり」の道具を通して、自然と調和し、共生した縄文人の精神文化を紹介した。

紹介遺跡 愛谷遺跡、連郷遺跡、大畑E遺跡、下平石遺跡、寺脇貝塚、綱取貝塚、上ノ内遺跡、根古屋遺跡、山下谷遺跡、大畑貝塚、相子島貝塚、薄磯貝塚、大場D遺跡、広畑遺跡、作B遺跡、差塩D遺跡、番匠地遺跡、熊ノ倉遺跡、郡遺跡、東瀬戸遺跡、松ノ下遺跡、匠番柵遺跡、横山B遺跡、応時遺跡

関連事業

(a) 講演会「土偶～縄文時代の心のかたち～」 9月4日(日)13時30分～15時 じょーもびあ宮畑の堀江格所長補佐が、縄文時代の人々の生活様式や自然環境などをもとに、土偶の形体やその背景について講演した。会場 いわき市生涯学習プラザ 聴講者 26人

(b) 展示解説会 7月17日(日)、10月2日(日)いずれも13時～14時 聴講者 15人

(c) ワークショップ「土偶づくりに挑戦！」 9月10日(土)10時～12時 いわき市内の遺跡から出土した土偶について学びながら、粘土で土偶をつくった。参加者 13人

(d) 考古資料館寄席「落語でめぐるいのり」 10月30日(日)14時～15時30分 山椒家小粒氏、武相亭八木助氏がいのりにちなんだ落語を上演したほか、財団職員が発掘調査の経験談などを紹介し、笑いとともに考古学への理解を深めるきっかけとした。聴講者 29人

c 第3回企画展「いわきの縄文時代を探る 貝塚に学ぶ」

会 期 12月3日(土)～3月26日(日)

入 館 者 969人

内 容 海に面したいわき市内では縄文時代の貝塚が多数確認されている。再生を祈る儀礼の場だったともされる貝塚の出土品を通して、自然と共生した縄文人の生活文化を紹介した。

紹介遺跡 相子島貝塚、大畑貝塚、寺脇貝塚、綱取貝塚、弘源寺貝塚、薄磯貝塚

関連事業

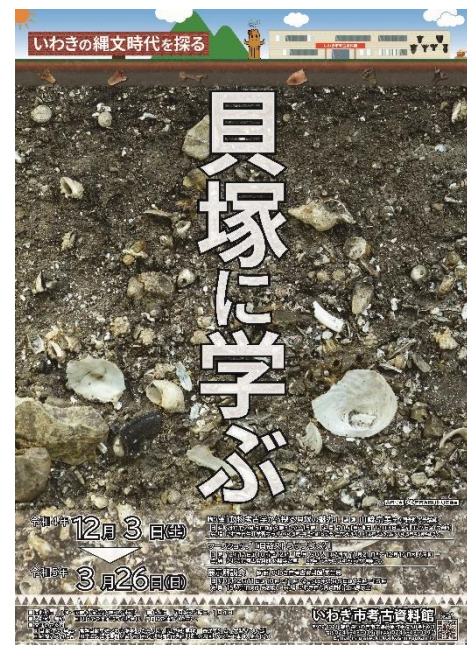
(a) 展示解説会 12月11日(日)10時～11時、3月5日(日)14時～15時 聴講者 19人

(b) 講演会「動物考古学から探る貝塚の魅力」 2月5日(日)13時30分～15時 講師の國學院大学の山崎京美氏が、市内の貝塚遺跡から出土した動物遺体に基づき、それらから推定される縄文時代の人々の生活様式や自然環境等について講演した。会場 いわき市生涯学習プラザ 聴講者 23人

(c) ワークショップ「貝殻ストラップづくり」 12月17日(土)10時～12時 貝塚の出土品や古代の装身具にちなみ、貝殻でストラップをつくった。参加者 21人

(イ) 講座・講演会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため前年度から延期した内容も含め、いわき市生涯学習プラザ「ふるさと再発見講座」との共催事業として「いわきの考古学講座」を実施したほか、中田横穴についての特別講演会を実施した。様々な主題、視点から遺跡、史跡について講演、解説し、地域の歴史についての理解を深める機会とした。



- a 令和3年度 いわきの考古学講座 第4・5回（共催・会場 いわき市生涯学習プラザ）

4月16日(土)、同23日(土)いずれも13時30分～15時 受講者 計78人 受講登録 60人 令和3年度企画展「いわきの古墳時代を語る」の関連講座で、延期していた2回を実施した。玉山古墳や中田横穴が造られた古墳時代の墓や副葬品について、第一線の研究者が講義を行った。

- (a) 「いわき市中田横穴出土の馬具の復元」 吉田秀享氏（川俣町教育委員会）
(b) 「いわきの横穴と飛鳥・斑鳩～八幡横穴群の出土品から～」 横須賀倫達氏（文化庁）

- b 特別講演会「中田装飾横穴について（続）」（会場 いわき市生涯学習プラザ）

10月15日(土)13時30分～15時 受講者 22人 福島県考古学会の馬目順一顧問が、いわき市を代表する装飾横穴である国史跡「中田横穴」の考古学的考察と副葬品などについて講演した。

- c いわきの考古学講座（共催・会場 いわき市生涯学習プラザ）

11月20日(日)、12月18日(日)、1月15日(日)、2月19日(日)、3月19日(日)いずれも13時30分～15時 受講者 延べ123人 受講登録 34人 企画展の主題「いわきの縄文時代を語る」関連講座として、いわきの縄文時代の遺跡や発掘された土器や土偶から縄文時代の文化と生活について学んだ。

- (a) 「縄文時代の祈りの道具」 大滝駿介（当財団研究員）
(b) 「縄文土器のみかた」 本間 宏氏（公益財団法人福島県文化振興財団）
(c) 「貝塚から見た浜通りの縄文文化－浦尻貝塚を中心に－」 川田 強氏（南相馬市教育委員会）
(d) 「法正尻遺跡から考える縄文時代の生活」 松本 茂氏（日本考古学協会会員）
(e) 「いわきの縄文遺跡を語る」 木幡成雄（当館館長）



(7) 体験学習会

大型連休、夏・冬の長期休暇等にあわせて、体験学習会や自由研究教室を実施した。いわき市内から出土した遺物にふれて学ぶ機会を提供し、主に親子連れの参加者が考古学に親しむ機会とした。

古代まつりでは体験学習会に加え、敷地内にキッチンカーを出店し、終日にわたって体験に参加できるよう工夫した。

- a ゴールデンウィーク体験学習会 中止

- (a) 勾玉づくり体験 5月1日(日)、同4日(水・祝)、同5日(木・祝)いずれも9時30分～11時30分、13時30分～15時30分

- (b) 火おこし体験、弓矢で狩りに挑戦 5月1日(日)いずれも9時30分～11時30分、13時30分～15時30分

- b 夏休み 親子で体験！考古学

- (a) 自由研究教室「土器を調べて、つくってみよう」 7月31日(日)9時30分～11時 受講者 18人 いわき市内の遺跡から見つかった土器について学び、粘土で土器づくりを体験した。

- (b) 古代人の技に挑戦！（まが玉づくり） 7月24日(日)、8月7日(日)、8月14日(日)いずれも9時30分～12時、13時30分～15時 参加者 計65人 古代の装具であるまが玉づくりを体験した。

- (c) 古代人の技に挑戦！ 8月7日(日)9時30分～12時、13時30分～15時 参加者 計71人 縄文土器・土偶づくりのほか、火おこしや弓矢を体験した。



- c 古代まつり 11月13日(日)10時～11時30分、13時30分～15時 参加者 計210人（延べ181人体験）
土器・土偶、まが玉づくりのほか、火おこしや弓矢を体験した。まが玉づくりでは、約5倍の大きさの「メガ玉」づくりも数量限定で体験した。



古代まつり まが玉づくり



古代まつり 土器、土偶づくり



古代まつり 弓矢体験



古代まつり キッチンカー出店の様子

- d 冬休み 古代の道具づくり 12月25日(日)、1月8日(日)いずれも10時～11時30分、14時～15時30分
参加者 57人（70人体験） まが玉または土器・土偶づくりのいずれかを体験した。
- e いろいろまが玉づくり 2月12日(日)10時～11時30分、14時～15時30分 参加者 計31人 白色か桃色の滑石を成形後、白色の場合は参加者が5色から選んだ色で着色するまが玉づくりを体験した。

(エ) 団体利用

学校・公民館・支所・各種団体への展示解説及びまが玉づくりなどの体験指導を実施した。市内の発掘調査で見つかった土器・石器などを実見し、触れるなかで、様々なものづくりを体験しながらいわきの歴史の一端を伝えた。次のように31団体、計785人が利用した。

4月28日(木) いわき市立磐崎小学校 83人
5月27日(金) アルパイン寿会 20名
同28日(土) 桜の聖母学院幼稚園・小学校教員 6人
同30日(月) 郷土史サークル 12人
6月10日(金) いわき市立三和小学校 36人
同11日(土) 藤原公民館(藤原土曜笑楽校) 9人
同30日(木) いわき市立湯本第三小学校 41人
7月4日(月) いわき市立藤原小学校 26人
同7日(木) 東日本国際大学 5人
同8日(金) いわき市立小名浜第三小学校 69人
同9日(土) 常陸佐竹研究会 41人
同14日(木) 藤原公民館 15人
9月9日(金) いわき市立上遠野小学校 26人
同16日(金) いわき市立平第四小学校 70人
同21日(木) 福島県立石川支援学校たまかわ校 15人
10月6日(木) いわき市立大浦小学校 51人
同13日(木) いわき市立中央台北小学校 39人

同13日(木) 茨城県立常陸太田特別支援学校 25人
同19日(木) 福島県立猪苗代支援学校 7人
同27日(木) いわき市立好間第四小学校 10人
埼玉県羽生市立村君小学校 12人
11月4日(金) いわき市立鹿島小学校 54人
同4日(金) いわき市立川部小学校 12人
同8日(火) 福島県いわき海浜自然の家利用者 12人
同22日(火) いわき市立久之浜第一小学校 19人
いわき市立好間第四小学校 11人
12月1日(木) 二本松市立小浜中学校 21人
同14日(木) 福島民報社 10人
2月19日(日) でんてつ四季の旅 17人
3月20日(月) ホテルパームスプリングス利用者 8人
同28日(火) 学童クラブ エンジェルキッズ 3人

(㊦) 出前講座

学校や公民館等から要請を受け、まが玉づくりなどの体験学習指導や、地域の歴史について講義した。また、当館の魅力や利用法を紹介し、利用促進を図った。9団体、計239人が受講した。詳細は55頁のとおり。

(㊧) 連携事業

当財団指定管理施設と連携し、3事業を実施した。詳細は56頁のとおり。

(㊨) ボランティア

主に体験学習会の運営協力としてボランティアが活動している。また、ボランティアの募集、研修を兼ねて、館の概要、活動内容の説明、そして体験学習会内容の実習と参加者への接遇について学ぶボランティア養成講座を開講した。

a 活動実績 登録者 20人 活動数 計27回

b 養成講座 6月18日(土)13時30分～16時、10月22日(土)14時～16時 受講者 計16人

(㊩) レファレンス対応

いわき市内の遺跡から出土した資料の閲覧、貸出しについて、所管課の許諾を確認、対応したほか、いわきに関連する史実、資料等についての問い合わせに対応し、参考資料を紹介するなどした。

a 収蔵資料の調査 13件

b 収蔵資料の貸出・返却 14件

c 問い合わせ、相談 11件

(㊪) 博物館実習の受け入れ

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及などの博物館業務を体験、理解する機会を提供し、学芸員として必要とされる知識・技術などの基礎・基本を修得する実習を実施した。当館の特性にちなみ、出土遺物の水洗、整理等の実習も実施した。

8月22日(月)～同26日(金) 6人(茨城キリスト教大学、学習院大学、駒澤大学2人、東海大学2人)

(㊫) 事業懇談会について

a 第1回事業懇談会

日時 7月23日(土)10時～12時

委員 7人出席

内容 報告第1号 令和3年度事業報告について
報告第2号 令和4年度経過報告について

b 第2回事業懇談会

日時 3月11日(土)10時～10時45分

委員 6人

内容 報告第1号 令和4年度経過報告について
報告第2号 令和5年度事業計画について

カ 福島県いわき海浜自然の家

いわき市久之浜町田之綱字向山53 平成8年7月10日開所

委 託 者 福島県 指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日
管理委託料 164,267,901円（利用料収入、事業受託費含む）

令和4年度の利用状況は、438団体、延べ利用者数27,404人で、利用者予測の25,000人を2,404人上回り、令和3年度（304団体・17,062人）との比較で、団体数で144.1%、延べ利用者数では160.6%となった。

令和3年度は、新型コロナによる宿泊利用の受け入れ停止期間が5箇月間余りあったが、令和4年度は、昨年度に引き続き利用定数を半数以下、利用日数も1泊2日までとした一方、宿泊利用の受け入れ停止期間については、部活動の合宿に限られたこともあり、全体的に利用状況の回復傾向が認められた。

学校教育団体の宿泊活動については、学校の規模を考慮しながら1日あたりの利用受け入れは最大6校まで、さらに宿泊は3校までとしたが、ほぼ予約通りの利用状況となっており、また、社会教育団体については、利用日数の制限を設けなかったことに加え、海浜活動のボディボードを活動プログラムに追加したことなどで、夏休み期間中の利用について好評を得た。県外からの利用では、相双地区の小学校と原発事故により避難先となった関東圏の小学校との交流を兼ねた合同の宿泊活動もあった。学校教育団体の利用に関する特徴として、県内各地から203団体の小学校の利用があり、約半数の県内小学校が当施設を訪れていることが挙げられる。

企画事業は、新型コロナ対策の一環として事前予約の定員制としているが、毎回、定員の5～6倍の申し込みがあり、コロナ禍で、家族で体験できる自然活動への関心が高まっている状況が窺える。

施設管理に関しては、引き続き当所の「新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル」に基づき、感染拡大防止対策を徹底し、利用者が安全に、安心して利用できるよう努めた。

(ア) 主催事業

主催事業は、新型コロナ感染拡大防止対策を徹底しながら実施した。例年、1月に会津地方でスキーを楽しむ「冬を楽しもう」については、新型コロナの感染状況を踏まえ、当初の1月8日(日)から2月19日(日)に延期したが、中止とした。代替事業として平日の利用促進も兼ねて、所内で成人を対象とした「つるかごWorkshop」を行った。その他の事業についても、参加人数の制限及び事前申し込み制としたが、申し込みにあたっては、事業内容に応じてインターネットなど多様な方法を取り入れるなど利用者の利便性に配慮した。

a 遊ぼう！初夏の海で

5月15日(日)9時30分～14時30分
初夏の舟戸海岸で、釣りや磯遊びを楽しみながら、親子のふれあいを深めた。参加者 16人（定員30人程度）

b 春のオープンデー（第1回未来キッズ生き活き事業）

5月29日(日)10時～15時 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をととして、当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれ合いにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。参加者 193人（定員200人）

c ふれあいサマーキャンプ

7月30日(土)8時45分～19時30分 県内の小学校4～6年生を対象として、いかだ乗りやボディボード、キャンプファイア等を行い、自然体験活動をととして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。7月29日(金)から31日(日)までの2泊3日の予定であったが、新型コロナ感染拡大防止のため、1日のみの日帰りで実施した。参加者 29人（定員30人）



遊ぼう！初夏の海で



春のオープンデー

d スポーツフェスティバル（第2回未来キッズ生き生き事業）

10月9日(日)10時～14時30分 子どもから大人まで一緒にニュースポーツなどを楽しみながら健康への意識向上を図った。特に、いわきFCを講師に招いたサッカー体験教室は好評であった。参加者 229人（定員250人）



スポーツフェスティバル
（第2回未来キッズ生き生き事業）

e 秋のオープンデー（第3回未来キッズ生き生き事業）

10月23日(日)10時～15時 施設を県民へ広く開放し、様々な体験活動をととして、当所への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフや地域団体とのふれ合いにより、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図った。当財団が管理している4施設（考古資料館・暮らしの伝承郷・草野心平記念文学館・アンモナイトセンター）の体験ブースも設置し、好評を得た。



秋のオープンデー
（第3回未来キッズ生き生き事業）

参加者 274人（定員250人）

f ふれあいオートタムキャンプ

11月5日(土)～6日(日) 県内の小学校4～6年生を対象として、テント設営、ナイトハイキング、野外炊飯、背戸峨廊ハイキング等を行い、自然体験活動をととして自然や人とふれあう喜びを体得するとともに、協調性・社会性や自立心を養った。参加者 24人（定員24人）



ふれあいオートタムキャンプ

g 親子のつどい

12月11日(日)10時～15時 家族が協力し、自然の素材を利用したクリスマスリース・ミニ門松作りと自然の家オリジナルのゲームをととして親子の絆を深めた。参加者 51人（定員50人程度）



親子のつどい

h 冬を楽しもう！

2月19日(日) 中止 いわき地区の親子を対象に会津地区でスキー教室を実施し、福島県の風土の豊かさを感じるとともに、自然体験活動の楽しさを知る事業。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、1月9日(日)から2月19日(日)に延期したが、中止とした。

i クラフトのつどい

2月5日(日)10時～14時30分 ドライフラワーのジェルキャンドル、凧、キーホルダー、ストーンアート、貝の壁飾り等を製作した。子どもから大人まで楽しめるクラフトを提供し、多くの地域の方々に当所への理解を深めてもらうことができた。参加者 129人（定員150人）

j 森の音楽会

3月5日(日)14時～15時30分 豊かな自然環境にあるいわき海浜自然の家で、いわきゆかりの演奏家のジャズ演奏を楽しんでいただき、多くの地域の方々に当所への理解を深めてもらうことができた。参加者 94人(定員80人)

k ミニ企画事業「つるかごWorkshop」

3月16日(木)10時～12時 自然の家周辺で採取した葛のつるを使って、オリジナルのかごを製作した。自然の家の閑散期を利用し、平日に成人を対象として講座を実施することで、他者との交流の場を提供するとともに、当所の魅力を発信し、理解を深めてもらうことができた。参加者 19人(定員20人)

(イ) 研修企画事業

a 学校団体指導者事前研修会

4月14日(木)、同21日(木)、同28日(木)、7月26日(火)いずれも9時30分～15時 令和4年度に宿泊活動で当所を利用する学校教育団体の指導者向けに、活動計画の立案や活動方法についての事前研修会と団体間の活動プログラム内容の調整を行った。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、オンラインで実施し、延べ195校が参加した。

b 活動プログラム研修会

5月13日(金)9時15分～14時30分 令和4年度に利用する社会教育団体を対象に、施設見学・プログラムの実技研修等とおして、自主的な活動の進め方や活動計画作成に理解を深め、円滑な活動ができるよう助言や指導を行った。参加者 12団体 計18人

c ボランティア養成講座

5月8日(日)、7月10日(日)、9月25日(日)、12月18日(日)いずれも9時30分～14時30分 自然体験を伴う活動を支援する上で必要な知識と技能を習得するとともに、ボランティアスタッフとしての資質向上を図った。全4回。参加者 延べ36人



写真左
ボランティア養成講座

写真右
環境支援ボランティア活動の様子

(ウ) 未来キッズ生き活き事業 第4～6回

コスモスポーツクラブによるカラダづくり教室や、いわきFCによるサッカー体験教室、ペットボトルロケット、屋内外のニュースポーツ、アスレチックなどで身体を動かすプログラムを提供し、運動不足の解消や体力向上を促進した。全6回で、第1～3回は主催事業との共催事業である。

11月27日(日)、1月22日(日)、2月26日(日)いずれも10時～14時30分 参加者 計439人(定員 第4・5回150人 第6回100人)



写真左
第4回 未来キッズ生き活き事業
写真右
第6回 未来キッズ生き活き事業

(エ) 心のケアが必要な子ども（不登校等）を対象とした自然体験事業

浜通り地域の不登校傾向にある児童生徒等を対象に、関係機関やスクールカウンセラーと連携を図りながら自然体験活動や交流体験の機会を提供した。第4回は初めて一泊二日の宿泊で実施したほか、第5回では、暮らしの伝承郷との連携で、古民家体験、節分行事、餅つきを楽しんだ。

わくわく自然体験

7月1日(金)、9月18日(日)、10月21日(金)、11月19日(土)～20日(日)、2月3日(金) 参加者 5回実施 延べ77人

(オ) 出前講座

いわき市立公民館や児童クラブ等に出向き、自然体験活動やクラフトなどのプログラムを提供した。市内の公民館と連携することで、各地域で当所の活動を広報することができた。7団体、計517人が受講した。詳細は55頁のとおり。

(カ) 連携事業

当財団管理施設と連携し、各施設の特徴を生かした事業を実施した。自然への理解を深めるきっかけを提供するとともに、施設及び事業紹介、ワークショップ、ストラックアウト、輪投げ体験を行った。当所の周知についても良い広報の機会となった。次のように3回、計116人が参加した。

a 9月10日(土) いわき市アンモナイトセンター 親子自然探訪教室「中秋の名月を見にいこう！」 8人

b 12月17日(土) いわき市考古資料館 第3回企画展ワークショップ「貝殻ストラップづくり」 21人

c 2月25日(土)・同26日(日) いわき市生涯学習プラザ「第18回生涯学習フェスティバル」 87人

(キ) 施設利用状況

利用者 438団体(学校教育団体242団体 社会教育団体155団体 その他4団体) 延べ利用者数27,404人
4月1日(金)～3月31日(金) 福島県教育庁社会教育課の指示に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、次のような対応を行った。以下、新型コロナウイルス感染症対策と施設利用対応の経過。

4月1日(金)～6月12日(日) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れは、全国大会、東北大会及び県大会での宿泊を除いて停止)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、徐々に実施。

6月13日(月)～8月11日(木・祝) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。

8月12日(金)～9月19日(月・祝) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについては、当面の間停止)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。

9月20日(火)～12月15日(木) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。

12月16日(金)～3月31日(金) 可能な限り感染症対策を行った上で宿泊の受け入れ可能(部活動における合宿・遠征等による宿泊受け入れについても同様)。感染リスクの高い企画・活動については、適切な感染症対策を行った上で、実施。

キ いわき市生涯学習プラザ

いわき市平字一丁目1番地 平成14年4月16日開館

委託者 いわき市 指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日
管理委託料 100,403,000円（事業受託費含む）

令和4年度の利用者数は55,668人で、前年度に比べて19,262人の増となった。また、施設使用許可申請数は2,351件で136件の減となった。申請件数は減少しているが利用者数が増えた要因としては、市による感染症対策の緩和、サークルや団体の利用はもちろんのこと、官公署や企業、労働組合等による会議での会場使用が増えたためである。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、いわき市の「感染拡大防止のための春の集中対策期間」及び「家族で感染を防ぐGW集中対策期間」に基づき、4月1日(金)～5月15日(日)の期間は、開館時間を20時までとした。

(ア) 講座・事業

市民講座は、年間55講座を実施した。主催講座では、初心者から上級者向けで人気のあるパソコン講座、自分だけのオリジナルの作品が作れる陶芸、七宝焼きのものづくり講座、親子で協力しながら行う紙漉き&絵手紙、親子陶芸講座を実施した。また、ボランティア活用事業として、子育て支援ボランティアによる幼児とその保護者向けの手遊び、タオルを使った運動、季節行事にあわせた工作やITボランティアリーダーによるパソコン講座を毎月開催し、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した講座を提供した。さらに、サークル・団体が実施するサークル企画講座では、「朗読教室」「楽しい朗読」「スクラッチで音楽を作ろう!」「粘土でかわいい動物をつくろう」を延べ8講座開催した。

その他の自主事業では、「七夕飾り」「雑誌リサイクル会」「クリスマスディスプレイ」の3件を実施した。共催事業の「ふだん着のお茶会」「第53回諸流いけばな展」は、事前予約制や人数制限、マスクの着用、手指の消毒の徹底に努め、共催団体と協力・工夫をして開催した。

a 高度で専門的な講座

(a) いわきの考古学講座（いわき再発見講座） 共催 いわき市考古資料館 ※令和3年度延期分
4月16日(土)、同23日(土)13時30分～15時 全5回 令和3年度3回実施 中田装飾横穴や玉山古墳が造られた「いわきの古墳時代」について学び、いわき市の歴史を学んだ。外部研究者及び当財団職員が講師を務めた。受講者 延べ223人（令和4年度78人） 受講登録60人

(b) Excelステップアップ（パソコン実用講座Ⅳ）※令和3年度延期分
4月4日(月)～同25日(月)18時30分～20時 全4回 エクセル中級者対象講座。VLOOKUP関数をはじめとした関数、集計作業に便利なグラフの作成など応用的な操作について学んだ。受講者 延べ72人 受講登録20人

(c) Excel上級講座（パソコン実用講座Ⅴ）※令和3年度延期分
4月7日(木)～同28日(木)18時30分～20時 全4回 Excel上級者対象講座。ピボットテーブルを使用してのデータ解析や、マクロの作成方法などを学んだ。受講者 延べ64人 受講登録20人

(d) いわきの文化総合講座（教養充実講座） 共催 いわき市教育文化事業団

6月15日(水)～3月15日(水)18時30分～20時30分 全9回 当財団の事務局、指定管理施設と連携し、歴史、考古学、民俗、文学、古生物など様々な分野におけるいわきの最新の文化について学んだ。詳細は56頁のとおり。受講者 延べ100人 受講登録20人

(e) はじめよう! Word（パソコン実用講座Ⅰ）

7月7日(木)～7月28日(木)18時30分～20時30分 全4回 Word初心者対象講座。文字のコピー・貼り付けなどの基礎的な操作や段落・フォントサイズの変更などを理解し、実際に表を作成した。受講者 延べ77人 受講登録20人



いわきの文化総合講座
（教養充実講座）

(f) Wordステップアップ！（パソコン実用講座Ⅱ）

9月1日(木)～同22日(木)18時30分～20時30分 全4回 Word中級者対象講座。Wordを使った実用的な文書作成や図形作成、差し込み印刷など応用的なスキルを学んだ。受講者 延べ67人 受講登録20人

(g) はじめよう！Excel（パソコン実用講座Ⅲ）

11月10日(木)～12月8日(木)18時30分～20時30分 全4回 Excel初心者対象講座。データ入力、編集やセルの入力方法等の基礎的な操作を理解し、表の作成からグラフ作成を学んだ。受講者 延べ61人 受講登録17人

(h) Excelステップアップ！（パソコン実用講座Ⅳ）

1月26日(木)～2月16日(木)18時30分～20時30分 全4回 パソコン経験者を対象に、Excelの実用的な操作方法を学んだ。受講者 延べ75人 受講登録20人

(i) Excel上級講座（パソコン実用講座Ⅴ）

3月2日(木)～3月23日(木)18時30分～20時30分 全4回 Excel上級者を対象に、関数やマクロを使ったより実践的な文書作成を学んだ。受講者 延べ74人 受講登録20人

(j) いわきの考古学講座（いわき再発見講座） 共催 いわき市考古資料館

11月20日(日)～3月19日(日)13時30分～15時 全5回 いわきの縄文時代の遺跡や発掘された土器や土偶から縄文時代の文化と生活について学んだ。受講者 延べ123人 受講登録34人

b 地域的課題に関する講座

内藤家時代のいわき（環境・まちづくり講座）

11月19日(土)～12月10日(土)14時～16時 全4回 一磐城平藩内藤家入封400年記念―農業や政治、文化、社会等様々な環境の側面から内藤家時代の磐城平について学んだ。受講者 延べ68人 受講登録20人

c 施設の機能を生かした講座

(a) 四季を生ける（華道講座）※令和3年度延期分

4月16日(土)14時～16時 全4回 3年度3回実施 池坊の橋本博子先生を講師に迎え、生け花の基本と草花や器に関する基礎知識を学んだ。受講者 延べ42人（4年度10人） 受講登録13人

(b) パソコンはじめての一步（IT入門講座）

5月12日(木)～6月2日(木)18時30分～20時 全4回 パソコン初心者対象講座。パソコンの電源の入れ方から電子メール・インターネットの使い方まで、基本操作を学んだ。延べ61人 受講登録17人

(c) 自分だけの器をつくる（陶芸入門講座）

6月13日(月)～7月18日(月・祝)18時30分～20時30分 全4回 陶芸家の秤屋苑子先生を講師に迎え、創作する喜びを深めながら陶芸の基本技術を学び、自分だけの器を作った。受講者 延べ77人 受講登録20人

(d) 七宝でつくるアクセサリ－1（ものづくり講座①）

7月16日(土)、同23日(土)10時～12時 全2回 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダントなどのオリジナルアクセサリ－を制作した。受講者 延べ22人 受講登録12人

(e) おとなの粘土遊び（ものづくり講座②）

10月8日(土)、同29日(土)10時～12時 全2回 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、土の感触を楽しみながら陶芸の基本を学び、自分だけの器を作り上げた。受講者 延べ35人 受講登録18人



はじめよう！Word
（パソコン実用講座Ⅰ）



Excelステップアップ！
（パソコン実用講座Ⅳ）



いわきの考古学講座
（いわき再発見講座）



内藤家時代のいわき
（環境・まちづくり講座）



自分だけの器をつくる
（陶芸入門講座）



七宝でつくるアクセサリ－1
（ものづくり講座①）

(f) 四季を生ける（華道講座）

6月18日(土)～3月18日(土)14時～16時 全4回 小原流の田邊豊京先生を講師に迎え、生け花の基本と草花や器に関する基礎知識を学んだ。受講者 延べ49人 受講登録16人



四季を生ける（華道講座）

(g) 茶道への誘い（茶道講座）

9月8日(木)～10月27日(木)18時30分～20時30分 全8回 (一社) 裏千家淡交会いわき支部の鈴木宗恵先生を講師に迎え、お点前の技術、茶道具の扱い方、所作を学び、おもてなしの心に触れながらお茶を点てることを楽しんだ。受講者 延べ50人 受講登録8人



茶道への誘い（茶道講座）

(h) 英語で話そう（外国語入門講座Ⅰ）

6月16日(木)～7月21日(木)18時30分～20時30分 全6回 いわき市外国語指導助手のファディーラ・ハサン先生を講師に迎え、簡単な英会話のコミュニケーションを体感し、国際理解を深めた。受講者 延べ71人 受講登録18人

(i) 目指せ！ペラペラ（外国語入門講座Ⅱ）

9月8日(木)～10月13日(木)18時30分～20時30分 全6回 いわき市外国語指導助手のジェイムス・ルイス先生を講師に迎え、グループごとにディスカッションを行い、より高度な英会話のコミュニケーションを学んだ。受講者 延べ86人 受講登録19人



英語で話そう
（外国語入門講座Ⅰ）

(j) 楽しく！美BODY（健康体力づくり講座Ⅰ）

8月19日(金)～9月16日(金)19時30分～21時30分 全5回 吉田美保先生を講師に迎え、ストレッチ・ヨガ・ピラティス等を楽しみながら体験し、美しい姿勢・身体作りを学んだ。受講者 延べ39人 受講登録10人

(k) ジュガで身も心もリフレッシュ（健康体力づくり講座Ⅱ）

10月8日(土)～11月5日(土)10時～12時 全5回 高田樹音先生を講師に迎え、ゆったりとした呼吸法と運動や瞑想を行い、心身ともにリフレッシュした。受講者 延べ53人 受講登録15人



ジュガで身も心もリフレッシュ
（健康体力づくり講座Ⅱ）

(l) 七宝でつくるアクセサリー2（ものづくり講座③）

1月14日(土)、同28日(土)10時～12時 全2回 古川栄子先生を講師に迎え、七宝焼きの基本技法を学び、ブローチやペンダント等のオリジナルアクセサリーを制作した。受講者 延べ24人 受講登録12人

d 人材養成に関する講座

(a) めざせ、街の歴史案内人～平編～（地域サポーター養成講座）※令和3年度延期分

4月9日(土)、同16日(土)10時～12時 6回のうち2回実施 令和3年度1回実施 第4～6回は中止 受講者 延べ41人（令和4年度13人） 受講登録20人

(b) 目指せ！街の歴史案内人リターンズ（地域サポーター養成講座）

1月7日(土)～3月4日(土)10時～12時 全6回 磐城平城とその周辺の歴史について学び、実際に平城周辺を歩いた。受講者 延べ98人 受講登録20人



目指せ！街の歴史案内人リターンズ
（地域サポーター養成講座）

e 親子・異世代間交流に関する講座

(a) ロボットプログラミング教室2（プログラミング講座②）※令和3年度延期分

4月9日(土)～同30日(土)10時～12時 全3回 第1級無線技術士小林克雄先生を講師に迎え、ロボットカーの仕組みとパソコンを用いて簡単なプログラミングを作成し、入力されたロボットカーを実際に動かして楽しんだ。受講者 延べ10人 受講登録4人

(b) 親子でつくる自分だけの器1 A・B（親子陶芸講座①）

7月9日(土) A 10時～12時、B 14時～16時 大堀相馬焼春山窯窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世界でひとつだけの器を作り上げた。受講者 A 10

- 組23人 受講登録10組23人、B 9組19人 受講登録10組21人
- (c) 親子でつくる自分だけの器 2 A・B (親子陶芸講座②)
 11月5日(土) A 10時～12時、B 14時～16時 大堀相馬焼春山窯
 窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子で楽しく陶芸を体験し、世
 界でひとつだけの器を作り上げた。受講者 A 4組9人 受講登
 録5組12人、B 8組17人 受講登録8組17人
- (d) お洒落なインテリアをつくろう！(親子ものづくり講座①)
 6月11日(土)10時～12時 親子で協力しながら、ハーバリウムのビン
 とボールペンを作製した。受講者 5組11人 受講登録5組11人
- (e) 絵付け体験 A・B (親子ものづくり講座②)
 8月6日(土) A 10時～12時、B 14時～16時 大堀相馬焼春山窯
 窯元の小野田利治先生を講師に迎え、親子でお皿や湯呑に好きな絵を
 描き、オリジナルの器を作り上げた。受講者 A 7組17人 受講
 登録7組18人、B 3組6人 受講登録3組6人
- (f) 紙漉き&絵手紙(親子ものづくり講座③)
 12月4日(日)、同11日(日)10時～12時 全2回 和紙作りを体験し、作
 製したハガキに思い思いの絵を描いて絵手紙を作った。受講者 延
 べ14組32人 受講登録8組18人
- (g) ロボットプログラミング教室(プログラミング講座①)
 7月23日(土)～8月27日(土)10時～12時 全3回 第1級無線技術士
 小林克雄先生を講師に迎え、ロボットカーの仕組みとパソコンを用い
 て簡単なプログラミングを作成し、入力されたロボットカーを実際に
 動かして楽しんだ。受講者 延べ12人 受講登録8人
- (h) 楽しいプラモデル講座(プログラミング講座②)
 3月5日(日)～同12日(日)10時～12時 全2回 各々が持参したプラ
 モデルを、講師に助言を受けながら楽しく作製した。受講者 延べ
 20人 受講登録11人
- f ITリーダー企画講座(ボランティア活用事業Ⅰ)
- (a) Outlook活用講座(ITリーダー企画講座①)
 5月29日(日)10時～12時30分 メールの受信の仕方から、宛先登録や
 予定表の入力方法を学んだ。受講者 13人 受講登録20人
- (b) パワーオートメイトデスクトップ活用講座(ITリーダー企画講座②)
 6月26日(日)10時～12時30分 パワーオートメイトによる作業の自動化の仕方について学んだ。
 受講者 15人 受講登録20人
- (c) Excel操作応用講座(ITリーダー企画講座③)
 7月31日(日)10時～12時30分 実践的な表の作成や関数を使用した文字列の操作方法を学びな
 がら、請求書を作成した。受講者 14人 受講登録19人
- (d) パソコンでいろいろ作ってみよう！(ITリーダー企画講座④)
 11月20日(日)10時～12時30分 Wordを用いて画像を編集し、アイロンプリントでオリジナルの
 バッグとうちわを作った。受講者 8組19名 受講登録10組23名
- (e) PowerPoint操作活用講座(ITリーダー企画講座⑤)
 9月25日(日)10時～12時30分 プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を用いて、文字入力や
 図形操作、グラフの入力等の基本的な操作を学んだ。受講者 14人 受講登録20人
- (f) Scratch体験講座(ITリーダー企画講座⑥)
 10月30日(日)10時～12時30分 プログラミング言語「Scratch」の基
 本を学びながら、ピンポンゲームを作った。受講者 14人 受講登
 録15人
- (g) 筆まめ年賀状作成講座(ITリーダー企画講座⑦)
 11月27日(日)10時～12時30分 「筆まめ」のソフトを使用し、筆まめ
 の使い方やイラストの挿入方法、宛名作成を学び、年賀状を作成した。
 受講者 13人 受講登録15人



お洒落なインテリアをつくろう！
(親子ものづくり講座①)



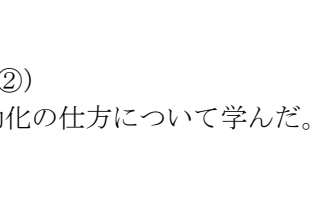
ロボットプログラミング教室
(プログラミング講座①)



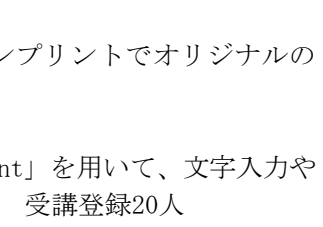
紙漉き&絵手紙
(親子ものづくり講座③)



楽しいプラモデル講座
(プログラミング講座②)



Scratch体験講座
(ITリーダー企画講座⑥)



Scratch体験講座
(ITリーダー企画講座⑥)

(h) ラベル作成講座（ITリーダー企画講座⑧）

12月18日(日)10時～12時30分 好きなイラストや画像を使用してオリジナルのラベルシールを作成した。受講者 10組24人 受講登録 10組24人

(i) Word操作応用講座（ITリーダー企画講座⑨）

1月29日(日)10時～12時30分 Wordのレイアウト設定や表の編集方法等応用的な使い方を学んだ。受講者 17人 受講登録20人

(j) Google活用講座（ITリーダー企画講座⑩）

2月12日(日)10時～12時30分 Googleアプリを使って、スプレッドシートやフォームの使い方を学んだ。受講者 16人 受講登録19人

(k) Excelマクロ講座（ITリーダー企画講座⑪）

3月26日(日)10時～12時30分 Excel作業を自動化するためのマクロの使い方について学んだ。受講者 18人 受講登録20人

g 子育て支援ボランティア活用事業（ボランティア活用事業Ⅱ）

(a) プラザおはなし会

6月10日(金)～3月10日(金)11時～11時30分 全12回 4月、5月は中止 5階「遊びと憩いの広場」で実施し、紙芝居と絵本の読み聞かせ、パネルシアターや手遊び・歌を親子で楽しんだ。受講者 10回実施 計54人 保護者24人とこども30人

(b) きんたろうのトントンずもう（子育てボランティア活用講座①）

5月28日(土)10時30分～12時 金太郎とくまにそれぞれ色を塗り、切り取ったものを箱で作った土俵にのせて、トントンさせて遊んだ。受講者 3組11人 受講登録 4組13人

(c) かわいいスワン・ボート（子育てボランティア活用講座②）

7月23日(土)10時30分～12時 紙コップや牛乳パックを使って、白鳥や亀のボートを作り、プールに浮かべて遊んだ。受講者 7組17人 受講登録 9組23人

(d) わらべうた&タオルあそび（子育てボランティア活用講座③）

9月17日(土)10時30分～12時 色々なわらべうたを歌い、タオルを使いながら踊って遊んだ。受講者 2組8人 受講登録 2組7人

(e) クリスマス・クラッカーをつくろう（子育てボランティア活用講座④）

11月26日(土)10時30分～12時 紙コップに各々絵を描き、親子でクリスマスのクラッカーを作った。受講者 6組15人 受講登録 8組19人

(f) たのしいむかしあそび（子育てボランティア活用講座⑤）

1月28日(土)10時30分～12時 紙袋を使って紙風船を作り、紙風船を使った替え歌で親子で楽しんだ。受講者 2組4人 受講登録 5組12人

(g) じゃんけんしんぶんし（子育てボランティア活用講座⑥）

2月25日(土)10時30分～12時 新聞紙で兎の帽子と棒を作り、叩いてかぶってじゃんけんぼんをして楽しんだ。受講者 3組6人 受講登録 5組12人

h サークル企画講座（ボランティア活用事業Ⅲ）

(a) 朗読教室1（一般体験講座①）

5月11日(水)～7月27日(水)18時30分～20時 全6回 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、吉屋信子作「鬼火」、太宰治作「桜桃」を味わい、朗読のコツを身につけた。受講者 延べ26人 受講登録 6人

(b) 楽しい朗読1（一般体験講座②）

5月13日(金)～7月22日(金)13時30分～15時 全6回 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、吉屋信子作「鬼火」、太宰治作「桜桃」を味わい、朗読のコツを身につけた。受講者 延べ51人 受講登録12人



ラベル作成講座
（ITリーダー企画講座⑧）



プラザおはなし会



きんたろうのトントンずもう
（子育てボランティア活用講座①）



わらべうた&タオルあそび
（子育てボランティア活用講座③）



朗読教室1（一般体験講座①）

(c) 朗読教室 2 (一般体験講座③)

9月14日(水)～11月24日(木)18時30分～20時 全6回 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、野上彌生子作「巣箱」、吉野せい作「暴風時代の話」を味わい、朗読のコツを身につけた。
受講者 延べ34人 受講登録7人

(d) 楽しい朗読 2 (一般体験講座④)

9月16日(金)～11月25日(金)13時30分～15時 全6回 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、野上彌生子作「巣箱」、吉野せい作「暴風時代の話」を味わい、朗読のコツを身につけた。
受講者 延べ67人 受講登録12人

(e) 朗読教室 3 (一般体験講座⑤)

1月11日(水)～3月29日(水)18時30分～20時 全6回 1月25日(水)は3月29日(水)に変更 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、芥川龍之介作「蜘蛛の糸」と「羅生門」を味わい、朗読のコツを身につけた。 受講者 延べ22人 受講登録4人

(f) 楽しい朗読 3 (一般体験講座⑥)

1月13日(金)～3月24日(金)13時30分～15時 全6回 いわき絵本と朗読の会の指導を受けながら、芥川龍之介作「蜘蛛の糸」と「羅生門」を味わい、朗読のコツを身につけた。 受講者 延べ56人 受講登録12人

(g) Scratchで音楽を作ろう！ (一般体験講座⑦)

12月11日(日)13時～16時 「プログラミング言語「Scratch」を使い、画面上のキャラクターを動かしながら音楽を演奏するプログラムを組み、プログラミングについて学んだ。 受講者 6人 受講登録6人

(h) 粘土でかわいい動物をつくろう (一般体験講座⑧)

12月10日(土)～12月24日(土)10時～12時 全2回 粘土で好きな動物を作り、親子で楽しみながら作品を作り上げた。 受講者 延べ10組23人 受講登録9組19人



粘土でかわいい動物をつくろう
(一般体験講座⑧)

i 各種団体共催事業

(a) ふだん着のお茶会 1・2

6月11日(土)、11月12日(土)いずれも10時～15時 (一社) 茶道裏千家淡交会いわき支部と共催し、日本の伝統文化である茶の湯を体験した。
参加者 延べ70人



ふだん着のお茶会

(b) 第53回諸流いけばな展

1月28日(土)、同29日(日) いわき市華道連合会と共催し、6流派によるいけばな展を開催した。 入場者 計210人

(c) IT相談会

6月14日(火)～3月28日(火)14時～16時 全24回 4月、5月、9月、12月27日(火)は中止 パソコン初心者・高齢者を対象に、インターネットやWord、Excel等のITに関する相談・質問にボランティアスタッフが対応した。 受講者 17回実施 計28人



第53回諸流いけばな展

j 全市的な事業

全市的な事業として広く市民に浸透している「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」は、「災害支援が学べる学部」「地域経済学部」「SDGs探究学部」「いわき学部」の4学部を開設し、161人の入学者があった。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により各学部とも定員を50人に絞ったが、ほぼ前年通りの受講者数となり、市民の学習ニーズにあった学部を開講できた。また、福島大学との連携・協力による特別講座を2回実施した。童門冬二学長による学長講演は、入学式において「徳川家康のガバナンス『国家経営』とその事例研究」との演題で事前収録映像を上映した。なお、学長講演及び「いわき学部」の一部講座については「i Tube (いわき市公式動画チャンネル)」上での視聴を可能とした。

3年ぶりの開催となった第18回「生涯学習フェスティバル」は、2,196人の入館者があり、プラザ利用団体や関係機関の協力により発表や展示・体験講座等を行い、幅広い年齢層を対象に、多くの市民へ学習の場・交流の場を提供することができた。

「いわきヒューマンカレッジ(市民大学)」や「生涯学習フェスティバル」の運営や講座の実施にあたっては、「いわき市生涯学習支援ボランティアの会」の支援により円滑に運営することができた。

(a) いわきヒューマンカレッジ（市民大学）

(a)－1 第52回理事会

5月27日(金)（資料送付による書面開催） 令和4年度いわきヒューマンカレッジ実施内容等について

(a)－2 入学式・学長講演（会場 いわき市文化センター）

8月20日(土)13時～15時 入学式及び童門冬二学長講演（学長講演は事前収録を放映） 受講者 136人

(a)－3 災害支援が学べる学部（会場 いわき市生涯学習プラザ）

9月3日(土)～10月15日(土)10時～12時 全7回 実際の事例を聴きながら、災害医療や看護支援など災害支援について学んだ。 受講者 延べ161人 受講登録32人 写真右



(a)－4 地域経済学部（会場 いわき市生涯学習プラザ）

9月3日(土)～11月5日(土)14時～16時 全7回 災害や異常気象、パンデミックという地球環境の危機を実感する中で、地域のまちづくりはどうあるべきかを考えた。 受講者 延べ193人 受講登録39人

(a)－5 SDGs探究学部（会場 福島工業高等専門学校）

9月10日(土)～11月12日(土)14時～16時 全7回 SDGsのルーツから始め、資源循環、材料、自然エネルギー、まちづくり、防災、高専ロボコンについて探究した。 受講者 延べ142人 受講登録24人

(a)－6 いわき学部（会場 いわき市生涯学習プラザ）

9月9日(金)～11月18日(金)14時～16時 全7回 かつての人々の営みをはじめ、炭鉱と生活、漁業にまつわる民俗、様々な文化財など、いわきの昔、今、未来について考えた。 受講者 延べ371人 受講登録66人



写真左から、
地域経済学部、
SDGs探究学部、

(a)－7 修了式（会場 いわき市文化センター）

1月21日(土)13時～14時55分 修了式及び各学部代表講師・神山敬章常任理事による講演会を実施した。 受講者 87人 写真右



(a)－8 第53回理事会

3月14日(火) 出席者 14人 令和4年度いわきヒューマンカレッジの実施状況について、令和4年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会の活動状況について、令和5年度いわきヒューマンカレッジ実施計画案のとりまとめについて。

(b) 福島大学・いわき市連携講座（会場 いわき市生涯学習プラザ）

(b)－1 12月3日(土)14時～16時 「発酵乳と健康」 講師 西村順子氏（福島大学食農学類教授） 受講者 84人 写真右

(b)－2 12月17日(土)14時～16時 「日本酒と酒粕」 講師 藤井 力氏（福島大学食農学類教授） 受講者 81人



(c) 第18回生涯学習フェスティバル

2月25日(土)9時30分～16時30分、同26日(日)9時30分～16時 プラザを利用する団体や関係機関の協力により、発表・展示・実演・体験講座等を行い、市民との交流を深めた。また、当財団管理施設の出展や、体験事業等を実施することにより、施設間の連携を深める機会となった。 参加者 計2,196人



第18回 生涯学習フェスティバル
街中ウォーキング（写真左）、社交ダンス（写真右）



第18回
生涯学習フェスティバル

陶芸作品展示（写真上左）
写真作品展示（写真上中）
絵手紙展示・体験
（写真上右）
フラダンス発表（写真下右）
民話の語り発表（写真下中）
篠笛演奏発表（写真下左）



k 情報収集・提供事業

広報に関しては、年間事業案内、講座・イベントごとの詳細な案内チラシを市内公共施設に配布したほか、ホームページやフェイスブックなどのメディアで情報提供を行った。また、利用者懇談会やアンケート調査でモニタリングを重ね、市民目線に立った効率的な管理運営に努めた。

(a) ホームページ・講座案内チラシ・広報「いわき」・年間事業案内パンフレット

4月1日(金)～3月31日(金) 毎月、開講講座をホームページで案内するとともに、関係機関にチラシを配布、広報した。生涯学習情報の収集、提供を図り、事業案内や市民からの問い合わせに積極的に活用した。

(b) プラザだより第72号・第73号・第74号

9月1日(木)～3月31日(金) 各種講座の募集要項や、実施事業の報告などを掲載し、市内公共施設に配布するとともにホームページでも公開した。年3回発行し、情報をわかりやすく提供する方法として活用できた。

(c) いわきまなびあいバンク事業

4月1日(金)～3月31日(金) 市民講師、社会教育関係団体の情報データベースであるいわきまなびあいバンクの情報収集及び維持管理を行い、ホームページ上の情報を更新し、PDF版「いわきまなびあいバンク」を発行した。まなびあいバンクに登録する市民講師の新規募集及び現在登録情報を悉皆調査し、最新情報を提供した。

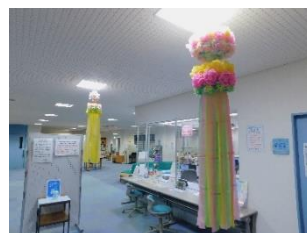
(d) 生涯学習に関する相談

4月1日(金)～3月31日(金) 生涯学習に関する相談を電話・窓口・メールなどで受け付け、対応した。講師・サークル紹介について 25件

1 その他の自主事業

(a) 七夕飾り

7月7日(木)～8月8日(月) 5階市民ロビーに笹竹を2本設置し、来館者の願いを込めた短冊を市民と協働して飾りつけた。参加者 54人 写真左



(b) 雑誌リサイクル会

7月24日(日) 5階情報コーナーに配架した約1年分の雑誌等の、無料リサイクル会を開催した。参加者 18人 写真右

(c) クリスマスディスプレイ

11月25日(金)～12月25日(日) 来館者にクリスマスを感じ、楽しむことができるように「遊びと憩いの広場」の一角にクリスマス飾りをつけ、5階市民ロビーにはクリスマスツリーを設置した。写真右



(イ) 利用者懇談会

a 第1回利用者懇談会

日 時 9月28日(水)14時～15時 出席者 47団体56人
議 題 令和4年度の利用状況と事業概況について
いわき市生涯学習プラザへの要望等について
令和5年度サークル企画「一般体験講座」「学校体験講座」について
いわき市生涯学習ポータルサイト開設に係る情報掲載について
「第18回生涯学習フェスティバル」の概要について

b 第2回利用者懇談会

日 時 1月24日(火)14時～15時 出席者 52団体62人
議 題 令和5年度生涯学習プラザ社会教育関係団体登録について
令和5年度生涯学習プラザ団体ロッカー・倉庫使用団体登録について
「いわき市公共施設予約案内システム利用者登録申請」登録について
いわき市生涯学習プラザへの要望等について
第18回生涯学習フェスティバルについて

(ウ) 生涯学習支援ボランティアの会

a 第1回役員会 4月13日(水)13時30分～14時30分 出席役員 13人 2人欠席

議題 令和4年度いわきヒューマンカレッジ（市民大学）、第18回生涯学習フェスティバル等における年間活動計画案についての協議

b 第2回役員会 5月18日(水)13時30分～14時30分 出席役員 12人 2人欠席

議題 いわき学部開講内容（案）について、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）入学式日程について、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）学長講演について、いわき市生涯学習支援ボランティアの会の皆様への支援依頼について

c 第3回役員会 7月13日(水)13時30分～14時30分 出席役員 12人 2人欠席

議題 入学式当日のスケジュールについて、入学式等の役割分担について、学部運営の役割分担について、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）運営等支援依頼結果について、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）運営等支援実行委員会等について

d 第4回役員会 11月9日(水)13時30分～14時30分 出席役員 10人 4人欠席

議題 いわきヒューマンカレッジ（市民大学）学部運営・支援について（各担当総括）、いわきヒューマンカレッジ（市民大学）修了式・講演会役割分担について、第18回 生涯学習フェスティバル（令和5年2月25日・26日）の支援について

e 第5回役員会 2月8日(水)13時30分～14時30分 出席役員 13人 1人欠席

議題 いわきヒューマンカレッジ（市民大学）について、令和5年度いわき市生涯学習ボランティアの会総会について、機関誌「Voluntary Association」第19・20合併号について

f 第6回役員会 3月8日(水)13時30分～14時30分、出席役員 14人

議題 いわきヒューマンカレッジ（市民大学）について、令和5年度いわき市生涯学習支援ボランティアの会総会について、機関誌「Voluntary Association」第19・20合併号について

g 総会 3月17日(金)13時30分～14時30分 出席役員 20人 12人欠席

議題 令和4年度活動状況について、令和4年度いわきヒューマンカレッジ（市民大学）について、令和4年度収支決算・監査報告について、令和5年度活動方針について、令和5年度事業計画・収支予算について、令和5年度役員改選について

ク 施設利用者状況（令和２年度～４年度）

（単位：名）

	年度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計	対前年比	月平均
いわき市立 草野心平記念 文学館	４	905	589	378	1,017	1,207	1,354	845	790	433	209	284	476	8,487	3,026	707
	３	618	0	496	939	166	0	938	1,303	371	242	160	228	5,461	(155.4%)	455
	２	251	39	179	1,049	2,410	2,304	888	2,252	560	395	776	981	12,084		1,007
いわき市 草野心平生家	４	250	152	99	51	158	58	61	124	26	23	129	46	1,177	570	98
	３	63	0	58	77	20	0	59	151	53	60	18	48	607	(193.9%)	50
	２	72	15	39	56	182	124	80	211	30	14	26	66	915		76
いわき市 暮らしの伝承郷	４	640	915	795	963	994	2,112	1,835	799	640	936	1,748	1,123	13,500	3,080	1,125
	３	754	172	1,254	988	223	159	2,380	2,102	667	782	405	534	10,420	(129.6%)	868
	２	343	367	638	793	1,168	1,971	1,923	1,766	622	878	877	856	12,202		1,016
いわき市 勿来関 文学歴史館	４	1,339	685	416	674	713	588	674	713	655	538	667	924	8,586	3,359	715
	３	678	0	438	484	92	0	510	901	516	462	486	660	5,227	(164.3%)	435
	２	641	141	363	784	1,144	1,876	1,263	1,304	597	460	598	834	10,005		833
いわき市 アンモナイト センター	４	1,053	2,550	894	1,247	2,014	1,505	1,582	951	857	596	704	824	14,777	7,724	1,231
	３	639	0	663	1,194	219	0	1,433	1,162	937	486	104	216	7,053	(209.5%)	587
	２	71	98	375	1,494	2,359	2,182	1,721	1,644	626	419	516	737	12,242		1,020
いわき市 考古資料館	４	575	511	462	661	601	689	493	598	297	259	439	318	5,903	509	491
	３	499	0	421	1,113	179	0	626	693	527	544	318	474	5,394	(109.4%)	449
	２	226	218	381	615	771	756	643	839	579	617	604	632	6,881		573
福島県いわき 海浜自然の家	４	461	2,270	5,662	3,289	1,592	4,048	3,663	1,879	1,021	672	858	1,989	27,404	10,342	2,283
	３	692	123	2,713	2,826	110	265	3,747	3,311	1,816	591	252	616	17,062	(160.6%)	1,421
	２	10	4	32	388	1,270	4,847	3,294	1,090	265	246	686	1,005	13,137		1,094
いわき市 生涯学習プラザ	４	2,972	3,065	5,156	5,539	3,966	4,691	4,868	5,321	4,107	4,723	6,957	4,303	55,668	19,262	4,639
	３	4,392	0	4,461	5,283	905	0	5,747	6,411	5,810	3,397	0	0	36,406	(152.9%)	3,033
	２	902	0	5,584	5,538	6,300	7,364	7,001	7,713	5,898	5,003	4,105	5,360	60,768		5,064
合 計	４	8,195	10,737	13,862	13,441	11,245	15,045	14,021	11,175	8,036	7,956	11,786	10,003	135,502	47,872	11,289
	３	8,335	295	10,504	12,904	1,914	424	15,440	16,034	10,697	6,564	1,743	2,776	87,630	(154.6%)	7,298
	２	2,516	882	7,591	10,717	15,604	21,424	16,813	16,819	9,177	8,032	8,188	10,471	128,234		10,683

ケ ホームページアクセス状況（令和２年度～４年度）

（単位：件）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比	月平均
いわき市 教育文化事業団	748	698	643	770	555	571	559	564	543	502	491	592	7,236	△ 806 (90.0%)	603
	3	611	423	653	912	655	780	526	590	861	672	712	8,042	(90.0%)	670
	2	353	303	392	346	416	1,446	650	387	771	349	435	6,164		513
いわき市立 葛野心平記念 文学館	2,875	2,629	1,873	2,523	2,594	2,047	2,002	1,925	1,499	1,643	1,654	2,300	25,564	△ 1,639 (94.0%)	2,130
	3	3,559	2,246	2,132	2,980	2,208	2,356	2,438	1,575	1,819	1,280	1,451	27,203	(94.0%)	2,266
	2	2,301	2,363	2,202	2,945	2,292	2,159	1,857	1,496	1,619	1,836	2,814	26,486		2,207
いわき市 暮らしの伝承郷	1,425	1,793	973	2,503	1,397	1,214	840	867	790	1,116	1,799	1,102	15,809	4,473 (139.5%)	1,317
	3	1,260	760	902	837	773	1,232	962	692	927	725	746	11,336	(139.5%)	944
	2	563	640	814	906	987	954	695	613	833	632	1,009	9,817		818
いわき市 勿来園 文学歴史館	562	535	576	641	778	581	528	711	592	686	557	598	7,345	359 (105.1%)	612
	3	610	521	540	629	625	681	605	463	500	489	598	6,986	(105.1%)	582
	2	427	393	425	797	816	823	731	506	483	459	498	7,786		648
いわき市 アンモナイト センター	6,632	7,735	5,161	7,176	8,126	4,538	4,431	3,356	3,035	3,045	3,367	4,851	61,453	19,243 (145.6%)	5,121
	3	3,993	2,850	3,246	4,008	2,675	4,070	3,439	3,240	2,588	1,991	3,468	42,210	(145.6%)	3,517
	2	1,487	1,788	2,529	18,625	8,456	4,989	3,935	2,406	2,145	2,373	3,645	58,947		4,912
いわき市 考古資料館	1,378	1,603	832	1,211	1,216	943	927	934	808	795	720	899	12,266	1,082 (109.7%)	1,022
	3	1,267	732	850	1,291	793	1,103	1,126	831	888	646	769	11,184	(109.7%)	932
	2	529	754	705	1,008	946	853	773	756	867	674	1,118	9,939		828
福島県いわき 海浜自然の家	2,648	4,636	3,985	3,070	2,773	3,344	3,230	2,199	1,256	1,479	1,585	1,597	31,802	8,034 (133.8%)	2,650
	3	2,310	2,142	2,898	2,703	1,612	2,522	2,110	1,657	1,732	1,184	1,219	23,768	(133.8%)	1,980
	2	1,590	1,351	1,526	2,152	2,240	1,869	1,185	980	1,084	999	1,161	18,694		1,557
いわき市 生涯学習プラザ	2,424	3,335	5,141	5,286	4,743	3,925	4,068	3,906	3,404	3,808	4,149	3,931	48,120	18,898 (164.7%)	4,010
	3	2,467	2,044	2,521	3,387	2,491	2,705	2,572	2,338	2,578	1,793	2,315	29,222	(164.7%)	2,435
	2	1,917	2,328	2,786	2,479	2,984	2,475	2,390	2,197	2,358	2,639	2,516	29,583		2,465
合 計	18,692	22,954	19,184	23,180	22,182	17,163	16,585	14,462	11,927	13,074	14,322	15,870	209,595	49,644 (131.0%)	17,465
	3	16,077	11,942	13,512	20,080	14,357	15,449	13,778	11,386	11,893	8,780	11,278	159,951	(131.0%)	13,326
	2	9,167	9,920	11,303	28,961	19,914	15,568	12,216	9,341	10,160	9,961	13,196	167,416		13,948

※事業団埋蔵文化財部門HPのアクセス数 1110件（4月1日～3月31日集計）

(3) 啓蒙普及事業

ア 出前講座

20団体（公民館9、学校6、学童3、他団体2）から計30回の依頼があり、計1,092人が受講した。
出講日時、会場、講座名、講師（所属）、受講者数は次のとおりである。

- (ア) 4月28日(木)10時25分～12時15分 いわき市立桶売中学校「桶売地区の歴史」 木幡成雄（事務局）、木次谷裕子（事務局調査係） 8人
- (イ) 6月2日(木)10時～11時30分 いわき市立久之浜公民館 市民講座ふるさと歴史教室～久之浜・大久あれこれ～「久之浜・大久地区の化石について」 歌川史哲（いわき市アンモナイトセンター） 13人
- (ウ) 6月5日(日)10時～15時 国立磐梯青少年交流の家 「クラフト」 福島県いわき海浜自然の家所員 203人
- (エ) 6月9日(木)10時～12時 いわき市立大浦公民館 大浦女性セミナー「郷土の歴史について学ぶ いわきのじゃんがら今昔」 山田りぼん（いわき市暮らしの伝承郷） 16人
- (オ) 7月6日(水)13時30分～14時40分 福島県立いわき総合高等学校 「いわきの民俗芸能について」 夏井芳徳（いわき市暮らしの伝承郷） 35人
- (カ) 7月6日(水)13時30分～14時40分 福島県立いわき総合高等学校 「白水阿弥陀堂に代表されるいわき市における歴史的建造物について」 中山雅弘（事務局調査係） 33人
- (キ) 7月7日(木)10時～11時30分 いわき市立久之浜公民館 市民講座ふるさと歴史教室～久之浜・大久あれこれ～「久之浜・大久の遺跡」 大滝駿介（事務局調査係） 15人
- (ク) 7月13日(水)9時35分～12時10分 いわき市立高久小学校 「神谷作101号墳の現地説明と勾玉づくり」 榎村友延（事務局調査係） 28人
- (ケ) 7月27日(水)9時～12時 いわき市立四倉公民館 「磯遊び」 福島県いわき海浜自然の家所員 129人
- (コ) 7月29日(金)9時～12時 いわき市立小川公民館 「磯遊び」 福島県いわき海浜自然の家所員 45人
- (サ) 8月2日(火)10時30分～12時 いわき市立長倉小学校 長倉小ときわ児童クラブ「いわきの恐竜時代」 歌川史哲（いわき市アンモナイトセンター） 35人
- (シ) 8月3日(水)10時30分～12時 くすのキッズ 「クラフト」 福島県いわき海浜自然の家所員 43人
- (ス) 8月4日(木)10時～11時30分 いわき市立久之浜公民館 市民講座ふるさと歴史教室～久之浜・大久あれこれ～「好嶋荘について」 佐藤耕太郎（いわき市勿来関文学歴史館） 14人
- (セ) 8月4日(木)13時～16時 いわき市立長倉小学校 長倉小ときわ児童クラブ「クラフト」 福島県いわき海浜自然の家所員 34人
- (ソ) 8月19日(金)13時～15時 いわき市立長倉小学校 長倉小ときわ児童クラブ「土器・土偶づくり体験」 いわき市考古資料館職員 17人
- (タ) 8月19日(金)10時30分～12時 錦星こども学園 「いわきの恐竜時代」 歌川史哲（いわき市アンモナイトセンター） 27人
- (チ) 8月22日(月)13時～15時 いわき市立長倉小学校 長倉小ときわ児童クラブ「まが玉づくり体験」 いわき市考古資料館職員 16人
- (ツ) 9月1日(木)、同2日(金)9時～11時 いわき市立磐崎中学校 総合学習「自分の生き方を考える」 渡邊芳一（いわき市考古資料館） 計83人
- (テ) 9月21日(水)10時25分～12時5分 いわき市立久之浜第一小学校 化石の発掘体験 遠藤喜一、歌川史哲（いわき市アンモナイトセンター） 17人
- (ト) 10月5日(水)10時～12時 いわき市立湯本第三小学校 化石クリーニング体験 歌川史哲、佐藤弓人（いわき市アンモナイトセンター） 40人
- (チ) 10月8日(土)13時30分～15時 いわき市立高久公民館 「高久の化石、地質について」 歌川史哲（いわき市アンモナイトセンター） 12人
- (ニ) 10月30日(日) いわき市立小川公民館 「秋祭り in おがわ2022」 出前展示 いわき市立草野心平記念文学館
- (ノ) 11月5日(土)9時～11時15分 いわき市立常磐公民館 土曜楽習「昔の生活（まが玉づくり、講話）」 いわき市考古資料館職員 9人
- (ネ) 11月17日(木)13時～15時 いわき市立湯本第二中学校 「職業講話ワークショップ」 いわき市考古資料館職員 21人
- (ハ) 1月10日(火)13時30分～15時30分 いわき市立好間公民館 社会福祉法人いわきの里「まが玉づくり

体験」 いわき市考古資料館職員 10人

- (ハ) 1月19日(木)10時25分～12時5分 いわき市立好間第一小学校 「昔の道具や暮らしについて知ろう」
山田りぼん、谷津健二（いわき市暮らしの伝承郷） 70人
- (ヒ) 1月26日(木)13時30分～15時 いわき市立小川公民館 市民講座「小川倶楽部（小川町の歴史等）」
馬目聖子（いわき市立草野心平記念文学館） 9人
- (フ) 2月4日(土)9時30分～11時 いわき市立錦公民館 土曜学習「土器・土偶づくり体験」 いわき市
考古資料館職員 47人
- (ヘ) 2月4日(土)9時30分～11時30分 いわき市立鹿島公民館 「クラフト」 福島県いわき海浜自然の
家所員 35人
- (ホ) 3月14日(火)14時30分～15時30分 いわき市立好間公民館 社会福祉法人いわきの里 「クラフト」
福島県いわき海浜自然の家所員 28人

イ 連携事業

当財団の指定管理施設、事務局調査係が連携し、施設の主題や特色をはじめ、地域の歴史を多角的に鑑賞、体験、学習する機会を創出し、文化振興を図った。

(ア) いわき市生涯学習プラザ「いわきの文化総合講座」

いわきの文化について各職員の専門分野（歴史・考古学・民俗・文学・古生物等）を活かし、様々な講座により最新の情報を提供する機会とした。

6月15日(水) 「草野天平をめぐって ～草野杏平氏への聞き書きから～」 講師 渡邊 芳一(事務局)

7月20日(水) 「古代磐城郡の官衙と周辺の関連遺跡」 講師 猪狩みち子（いわき海浜自然の家）

8月17日(水) 「いわきの化石哺乳類」 講師 歌川 史哲（アンモナイトセンター）

9月21日(水) 「縄文のいのり-いわきの出土品からみえる縄文人の知恵-」 講師 木幡 成雄（考古資料館）

11月16日(水) 「いわきの鉄づくり」 講師 松嶋 直実（暮らしの伝承郷）

12月21日(水) 「葬送での装いと被り物についてー「被衣(カツギ)」を中心にー」 講師 渡邊 彩(草野心平記念文学館)

1月18日(水) 「いわき地方の道標」 講師 矢島 敬之（勿来関文学歴史館）

2月15日(水) 「発掘調査を支える科学技術」 講師 末永 成清（生涯学習プラザ）

3月15日(水) 「星新一・星一といわき」 講師 長谷川由美（草野心平記念文学館）

(イ) 福島県いわき海浜自然の家「秋のオープンデー」 10月23日(日)

a いわき市立草野心平記念文学館 カエルの折り紙 参加者 33人 カエルにちなんだワークショップを実施した。

b いわき市暮らしの伝承郷 昔遊び体験 参加者 125人 割り箸鉄砲作り等の昔遊び体験を実施した。

c いわき市考古資料館 土偶づくり体験 参加者 65人 土偶をつくる体験学習会を実施した。

(ロ) いわき市生涯学習プラザ「第18回 生涯学習フェスティバル」 2月25日(土)～同26日(日)

a 2月25日(土)15時～16時、同26日(日)13時～14時・15時～16時 いわき市考古資料館 平城跡発掘調査報告会 聴講者 71人、事務局調査係 いわき駅並木通り地区市街地再開発に伴う発掘調査成果を報告した。情報公開コーナーでは陶磁器やかわらけ、瓦、銭貨等の出土品約100点を展示した。また、併せて「文化財ニュースいわき第83号」を発行し、来場者へ配布した。

b 2月25日(土)～同26日(日) いわき市市立草野心平記念文学館 出前展示 4階情報公開コーナー 草野心平のカエルの詩、心平の肖像、当館紹介写真パネルの展示等を実施した。

c 2月25日(土)～同26日(日) 福島県いわき海浜自然の家 参加者 87人 ワークショップ、ストラックアウト、輪投げ体験を行った。

d 2月25日(金) いわき市考古資料館 まが玉づくり体験 参加者 10人 まが玉をつくる体験学習会を実施した。

e 2月26日(土) いわき市暮らしの伝承郷 昔遊び体験 参加者 28人 割り箸鉄砲作り等の昔遊び体験を実施した。

f 同 いわき市アンモナイトセンター 化石クリーニング体験 参加者 3人 岩石から化石を探す体験発掘を実施した。

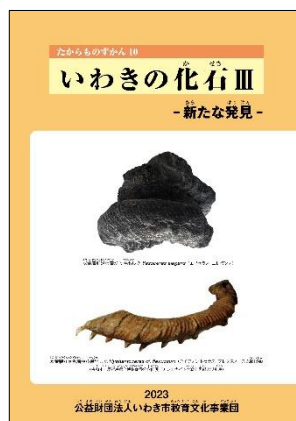
ウ 刊行物

(ア) 「たからものずかん10 いわきの化石Ⅲ」

発行日 令和5年3月31日 部数 2,000部
事務局及びいわき市アンモナイトセンターが編集を担当した。小学校や各種施設に配付するとともに、来館者などへの解説資料として活用している。 写真左

(イ) 「年報 令和3年度」

発行日 令和5年3月22日 部数 300部
関係機関などに配付し、事業内容の発信に努めた。 写真右



エ 情報発信

(ア) ホームページの運営

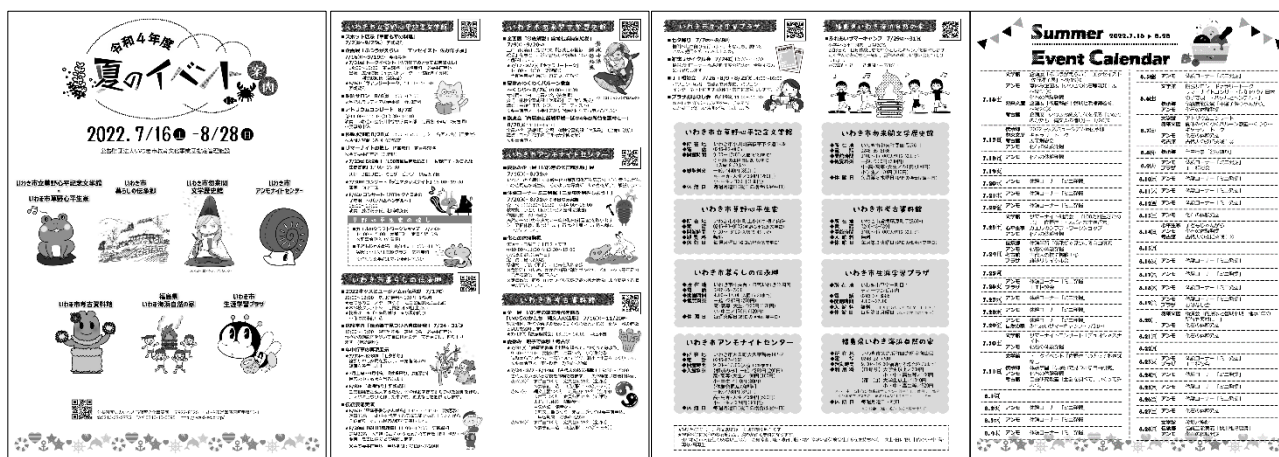
財団及び指定管理施設のホームページを適宜、更新し、財務諸表、指定管理受託施設の事業計画、「出前講座」募集案内の情報などを掲出した。アクセス数は54頁に記載のとおり。

(イ) 事業案内の配付

指定管理8施設の案内と1年間の事業をまとめた「事業のご案内」リーフレットを作成し、施設及び事業の周知を図った。また、夏、冬の長期休暇にあわせ、同期間中の指定管理施設の事業をまとめたチラシを作成し、市内の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、そして公共施設などに配付した。園児、児童については一人1枚を配付し、事業周知と参加促進を図った。



令和4年度 事業のご案内 A3判 2頁 三つ折り



令和4年度 夏のイベント案内 A4判 4頁

(4) 研究事業

ア 研究紀要の刊行

「研究紀要 第20号」 刊行日 令和5年3月31日 部数 300部
「遺物の正面を考える ―薄磯貝塚の岩板― その1」大滝駿介
「いわき地方の祭祀遺物について(1) ―土偶の集成―」木幡成雄
「古墳時代の古海岸線と遺跡分布 ―いわき市南部の事例―」歌川史哲
「古代菊多郡の土器様相について」猪狩みち子
「根岸官衙遺跡群と周辺の古代交通路 ―旧石城国域の陸上交通―」太田勇陽
「福島県いわき市平成団地造成地採集の製鉄関連資料について」吉田秀亨・松嶋直実
「いわき市中山館と中山氏 ―戦国時代の城館跡」中山雅弘
「風船爆弾勿来基地の諸問題(1) ―戦争遺構の保存に向けて―」榑良幸弘
「いわき地方の道標(5) ―近代Ⅰ・記念碑編―」矢島敬之
「葬送儀礼での被り物」渡邊 彩
「草野天平『私のふるさと』をめぐって 草野杏平氏への聞き書きより」渡邊芳一
〈資料紹介〉「いわき市勿来関文学歴史館蔵「鈴木家文書」―鈴木寿山関係史料―」佐藤耕太郎
「白木英尾の生涯と作品―いわき市立草野心平記念文学館所蔵資料と小野洋子氏聞き取り調査から―」
渡邊千香
〈資料紹介〉「吉野せい『北風の通信』翻刻 ―吉野せい著『暮鳥と混沌』刊行に至る経緯を解く資料として―」長谷川由美

イ 外部機関からの委嘱など

猪狩みち子 大熊町文化財保護審議会 考古学（大熊町教育委員会）
歌川 史哲 日本古生物学会邦文誌「化石」編集委員（日本古生物学会）
歌川 史哲 福島県文化財保護審議会委員 地質・古生物担当（福島県教育委員会）
歌川 史哲 福島工業高等専門学校非常勤講師
榑村 友延 いわき市文化財保護審議会委員 有形文化財（考古資料）史跡・埋蔵文化財担当（いわき市教育委員会）
榑村 友延 梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査指導委員会委員（いわき市教育委員会）
榑村 友延 磐城平城跡塗師櫓石垣修復指導委員会委員（いわき市教育委員会）
木幡 成雄 いわき市文化財保護審議会委員 有形文化財（考古資料）史跡・埋蔵文化財担当（いわき市教育委員会）
佐藤耕太郎 東北学院大学中世史研究会事務局編集（東北学院大学中世史研究会）
高橋 忠道 福島県文化財保護指導委員（福島県教育委員会）
中山 雅弘 いわき市文化振興基金運営委員会委員（いわき市）
中山 雅弘 磐城平城跡塗師櫓石垣修復指導委員会委員（いわき市教育委員会）
長谷川由美 福島県文学賞委員（福島県）
長谷川由美 いわき市文化政策ビジョン検討委員会委員（いわき市）
長谷川由美 いわき市子ども読書活動推進委員会委員（いわき総合図書館）
馬目 聖子 福島県文化財保護指導委員（福島県教育委員会）
山田りぼん 市指定無形民俗文化財「いわきの獅子舞」指定見直し調査員（いわき市）
山田りぼん 浜通りのお浜下り調査員（福島県教育委員会）
渡邊 彩 市指定無形民俗文化財「いわきの獅子舞」指定見直し調査員（いわき市）
渡邊 彩 浜通りのお浜下り調査員（福島県教育委員会）
渡邊 千香 吉野せい賞運営委員（吉野せい賞運営委員会）

公益財団法人いわき市教育文化事業団
年 報 令和4年度

発 行 日 令和5年12月22日
編集発行 公益財団法人いわき市教育文化事業団
〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町手這50番地の1
電話 0246-68-6775 FAX 0246-43-0395
